

T2 INTELLIGENT DIGITAL DISK RECORDER

ユーザーマニュアル - SP3/SP4 -

pro.grassvalley.jp

F2431110172 October 2011 (1)本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。

(2)本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。

(3)本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏 れなどお気付きの点がございましたら、当社までご連絡ください。

(4)運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

- (5)ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6)本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての 関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアッセンブ リを禁じます。
- (7)付属の電源ケーブルおよびその他ケーブル類は本製品専用です。接続には必ず付属ケーブルを使用してください。

(8) QuickTime および QuickTime ロゴは米国アップル社の登録商標です。



- (9) Microsoft、Windows、Windows Media、Internet Explorer および SQL Server は米国マ イクロソフト・コーポレーションの登録商標です。
- (10)Intel、Core 2 Quad は、米国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまた はその子会社の商標または登録商標です。

(11) XDCAM、MPEG HD422、およびそのロゴはソニー株式会社の商標です。

(12) XDCAM EX、SxS、およびそのロゴはソニー株式会社の商標です。

(13)GF、GFPAK は、株式会社 東芝の商標です。

(14)Adobe、Adobe Premiere は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国 ならびに他の国における商標または登録商標です。

(15)Final Cut Pro は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

(16) 記載の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

表記について

- ■本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、添付のテキストファイル やリリースノートなども必ずお読みください。
- ■本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書は T2 標準モデル、T2 RAID モデル、T2 SSD モデルの共通マニュアルです。本文中の画像やイラストは、実際の製品とは一部異なる場合があります。
- 本書で使用している画像は開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合があります。
- ■本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書かれています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同様に行ってください。
- 本製品の内容は、仕様変更などにより予告なく変更することがあります。

T2 ユーザーマニュアル — SP3/SP4 — Copyright © 2011 Grass Valley K.K. All rights reserved.

	はじめに	7
Chapter 1	ライセンス移動 ライセンス移動	10
Chapter 2	T2 XDCAM Ontion	
		14
	XDCAM EX とは	14
	動作確認済みドライバのバージョンについて	14
	対応フォーマット	15
	XDCAM	15
	XDCAM EX	16
	T2 とデバイスの接続	17
	VFAM/FAM、SAM とは	17
	T2 と XDCAM ドライブ(PDW-U1)の接続	17
	プロフェッショナルディスクの取り出し	18
	T2 と SxS メモリーカード USB リーダーライター(SBAC-US10)の接続…	19
	SxS メモリーカードの取り出し	19
	XDCAM を使用したワークフロー	20
	XDCAM ドライブ内の素材の再生	20
	XDCAM 素材のインボート (フィティブインポート/Grace Vallov HO AVUに恋悔してインポート)	20
	(ホイナイノイノホート) Oldss Valley HQ AVIIC支換してイノホート) ビンに登録した VDCAM 表材を Grace Valley HQ AVIIC支換	02
	EVIC豆豉のためBOAM 案例を Ordas Valley H& AVIC支換	23
	TTT C NDOAM 来初き PE に送文店 XDCAM フォーマットでファイル出力	20
	FDIUS 6 から MXF フォーマットで出力	27
	エビー 2000 0 12 2 110 11 2 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	29
	SxS メモリーカード内の素材の再生	29
	XDCAM EX 素材のインポート	
	(ネイティブインポート/ Grass Valley HQ AVI に変換してインポート)	30
	ビンに登録した XDCAM EX 素材を Grass Valley HQ AVI に変換	31
	FTP で XDCAM EX 素材を T2 に送受信	32
	XDCAM EX フォーマットでファイル出力	32
Chapter 3	T2 P2 Option	
	P2とは	36
	動作確認済みドライバのバージョンについて	36
	対応フォーマット	37
	T2 とデバイスの接続	39
	T2 と P2 ドライブ(AJ-PCD20)の接続	39
	P2カードの取り出し	40
	P2 を使用したワークフロー	41
	P2 ドライフ内の素材の冉生	41
	P2 素材のインホート (ネイティブインポート/ MXF(OP-1a)に変換してインポート/	
	Grass Valley HQ AVI に変換してインポート)	42
	ビンに登録した P2 素材を MXF(OP-1a)/ Grass Valley HQ AVI に変換.	44
	P2 フォーマットでファイル出力	44
	EDIUS 6 から AVC-Intra MXF ファイルを出力	46
Chapter 4	T2 GF Option	
	GF とは	50
	対応フォーマット	50

	T2 とデバイスの接続	51
	T2とGFPAKの接続	51
	GFPAK の取り外し	51
	GF を使用したワークフロー	52
	GFPAK 内の素材の再生	52
	GF 素材のインポート	
	(ネイティブインボート/ Grass Valley HQ AVI に変換してインボート)…	53
	ヒンに登録した GF 素材を Grass Valley HQ AVI に変換	54
	FTP で GF 素材を T2 に送受信	55
	GF フォーマットでファイル出力	55
Chapter 5	T2 Alpha Option	
•	オプション概要	58
	制限事項	59
	対応フォーマット	60
	Fill、Keyとは	60
o l i o		
Chapter 6		00
	MAF 人山力 成能に しい C	63
	刈心フォーマット Oraco Vollov HO MVE ませの インピート	03
	GIASS Valley HQ MAF 系材のインホート (ネイティブインポート/ Grass Valley HQ AVI に変換してインポート)	64
	ビンに登録した Grass Valley HQ MXF 素材を Grass Valley HQ AVI に変換	66
	FTP で Grass Valley HQ MXF 素材を T2 に送受信	67
	Grass Valley HQ MXF フォーマットでファイル出力	67
	EDIUS 6 から Grass Valley HQ MXF ファイルを出力	68
	Grass Valley HQ AVI を MXF(XDCAM 形式)に変換してファイル出力	171
	他の編集ソフトウェアに T2 素材を読み込み、編集	73
	AVCHD 入出力機能について	74
	対応フォーマット	74
	リムーバブルメディア内の AVCHD 素材の表示	75
	AVCHD素材のインポート	
	(ネイティフインホート/ Grass Valley HQ AVI に変換してインホート)…	/6
	ヒンに登録した AVCHD 素材を Grass Valley HQ AVI に変換	78
	FTP で AVCHD 素材を 12 に送受信	78
	AVCHD ノオーマットCノアイル出力	/8
	次回起動時の各種状態の保持	80
		82
	ハッナキャノナヤの動作設正	82
	ハッナキャノナヤリストの読み込みとハッナキャノナヤの夫付	83
	III/UUL LIQと時の割作について	08
	ノレイリストヒューの迫加・変史成能	0/
	イベントの衣示の切り留え	87
	1、ノントの月京巴にして、	60
	1、ノ トリ衣小・月京出り改た炎史	00
	1、ノトツ後奴迭扒・Ψ丶省んにしいし プレイリフト内のイベントに性中のタイトコードた部中	ມະ ບາ
	ノレイ リストYYU1 ハノトに対たのツイムヨートを設た	וש רח
	1 ハノ トノ ノノレー トリ マと	ອ⊂ ∩⊿
	ノレイリヘド企 I ノリノリツノに支探 ビンに登録したプレノリフトを] つのクロップに亦協	
	ヒノに豆球Uにノレイリストで I JUJリツノに支按 プレイリフトを 1 つのメディアファイルに本施L ア山も	ບຣ
	ノレィンヘドペー フロハナイノフナイルに友伏して山川	

目次

プレイリスト・クリップのインポート/エクスポート	97
プレイリスト・クリップを T2 フォーマットでエクスポート	98
プレイリスト・クリップをインポート	98
他の T2 ヘメディアファイルを転送	99
T2(転送先)の FTP サーバー設定	99
T2 から T2 ヘメディアファイルをエクスポート	100
他の T2 へ全データをバックアップ(フルバックアップ同期)	102
同期先の T2(スレーブ側)をスレーブモードに設定	102
同期元の T2(マスター側)をマスターモードに設定し、データを同期	103
リモートモード中のローカル操作	105
R1-Remote モード中のローカル操作	105
P1-Remote モード/ P2-Remote モード中のローカル操作	106
その他の追加・変更機能	107
録画中のファイルを自動的にエクスポート	107
時差送出可能な素材を P1/P2 チャンネルに自動的にロード	107
R1 で作成したサブクリップをプレイリストに自動的に追加	108
プレビュー更新間隔の設定について	109
1 倍速以外で再生時のアンシラリデータの出力	1 1 1 1
キーボードショートカットについて	1 1 1 1
Wake On LAN 機能で T2 を起動	111
GPI からのタリー出力	113

Chapter 7 APPENDIX

T2 エクスポートに関する注意事項	116
フロントパネルモードでの操作	117
メディア内の素材の再生	117
インポート	118
メディアの取り出し	120
ビンに登録したクリップを別のフォーマットに変換	121
FTP の設定	121
プレイリストを 1 つのクリップに変換	123
T2 フォーマットでエクスポート	126
そのままのフォーマットでファイル出力	127
Grass Valley HQ AVI を MXF(XDCAM 形式)に変換してファイル出力 他の T2 へ全データをバックアップ(フルバックアップ同期)	127 129

目次

はじめに

本マニュアルは、SP2 から SP3、SP4 へのバージョンアップによる機能差分および各種オプ ションの共通マニュアルとなっております。オプションをご購入いただいた場合は、各オプ ションの章を参照してください。

本マニュアルでは、ワークステーションモードで T2 を操作する手順をメインに記載していま す。特に記載がないかぎり、フロントパネルモードでの操作と同様の手順になります。フロ ントパネルモードでの操作については Chapter 7 を参照してください。

本書の構成

本マニュアルは次のように構成されています。

Chapter 1, ライセンス移動: オプションのライセンスをT2に移動する手順について説明しています。

Chapter 2, T2 XDCAM Option: XDCAM、XDCAM EX を使用したワークフローについて説明しています。

Chapter 3, T2 P2 Option: P2 を使用したワークフローについて説明しています。

Chapter 4, T2 GF Option: GF を使用したワークフローについて説明しています。

Chapter 5, T2 Alpha Option: 透明度情報を持つファイルの取り扱いについて説明しています。

Chapter 6, SP3/SP4 の追加・変更機能: SP3、SP4 で追加・変更された機能について説明しています。

Chapter 7, APPENDIX :

エクスポート時の注意事項やフロントパネルモードでの手順について説明しています。

オプション同梱物のご確認

ご購入いただいたオプションに以下のものが含まれているかをご確認ください。

- USB キー
- T2 ユーザーマニュアル SP3/SP4 (本書)

はじめに

この章は次のように構成されています。

• 「ライセンス移動」 (→ P.10)

ライセンス移動

ご購入いただいたオプションのライセンスを T2 に移動します。USB キーを T2 に接続しなくて もオプションを使用することができます。(ライセンスを移動せず、USB キーを接続したままの 状態で各オプションを使用することもできます。)

POINT:ファームウェアをアップデートしても、T2に移動したライセンスは上書きされ ず、そのまま使用できます。

- 1. メンテナンスモードで起動する
 - メンテナンスモードの起動方法はT2メンテナンスマニュアルを参照してください。

3. Move Licenses をクリックする

🗙 Maintenance Tools (1.4.0.2)							
Harddisk Data Sustem Optic	n						
Move Licenses							
Check T2							
Check USB Key							
Next Boot Mode :							
CommandCenter							
 Maintenance 	Restart Shutdown						

- Check T2 をクリックすると T2 に移動済みのライセンスを確認できます。
- Check USB Key をクリックし、Check をクリックすると、T2に装着された USB キー内のライ センスを確認できます。

4. 移動するオプションを選択し、>をクリックする

XDCAM Ontion	I 2 License:
P2 Option Alpha Option GF Option	

- 5. OK をクリックする
- **POINT**: Move License 画面で、移動したオプションのライセンスを再度 USB キーに戻す こともできます。

Chapter 1 ライセンス移動

Chapter **2**

T2 XDCAM Option

この章は次のように構成されています。

- $\lceil XDCAM \geq lt \rfloor (\rightarrow P.14)$
- $\lceil XDCAM EX \geq lt \rfloor (\rightarrow P.14)$
- 「動作確認済みドライバのバージョンについて」(→ P.14)
- 「対応フォーマット」 (→ P.15)
 - $\lceil \text{XDCAM} \rfloor (\rightarrow P.15)$
 - $\lceil \text{XDCAM EX} \rfloor (\rightarrow P.16)$
- 「T2 とデバイスの接続」 (→ P.17)
 - [VFAM/FAM, SAM $\geq lt$] (\rightarrow P.17)
 - •「T2とXDCAM ドライブ (PDW-U1)の接続」(→ P.17)
 - •「プロフェッショナルディスクの取り出し」(→ P.18)
 - •「T2とSxSメモリーカードUSBリーダーライター (SBAC-US10)の接続」(→P.19)
 - •「SxS メモリーカードの取り出し」 (→ P.19)
- 「XDCAM を使用したワークフロー」 (→ P.20)
 - 「XDCAM ドライブ内の素材の再生」 (→ P.20)
 - 「XDCAM 素材のインポート(ネイティブインポート/ Grass Valley HQ AVI に変換してイン ポート)」(→ P.20)
 - 「ビンに登録した XDCAM 素材を Grass Valley HQ AVI に変換」 (→ P.22)
 - •「FTP で XDCAM 素材を T2 に送受信」(→ P.23)
 - •「XDCAM フォーマットでファイル出力」(→ P.25)
 - 「EDIUS 6 から MXF フォーマットで出力」 (→ P.27)
- 「XDCAM EX を使用したワークフロー」 (→ P.29)
 - 「SxS メモリーカード内の素材の再生」 (→ P.29)
 - 「XDCAM EX 素材のインポート (ネイティブインポート / Grass Valley HQ AVI に変換してインポート)」 (→ P.30)
 - •「ビンに登録した XDCAM EX 素材を Grass Valley HQ AVI に変換」(→ P.31)
 - •「FTP で XDCAM EX 素材を T2 に送受信」(→ P.32)
 - •「XDCAM EX フォーマットでファイル出力」(→ P.32)

XDCAM とは

XDCAM とは、ソニー株式会社が開発した放送業務用ディスクビデオシステムです。プロフェッショナルディスクを記録メディアとし、このメディア1つで、取材、編集、送出、アーカイブまで行うことができます。

XDCAM では MXF ファイル形式で映像を記録します。圧縮フォーマットには MPEG HD422、 MPEG HD、MPEG IMX、DVCAM の4つがあり、T2 XDCAM Option はこれら4つのフォー マットすべてに対応しています。

ファイルフォーマットで記録することで、テープ媒体では不可能な高速アクセスが可能です。 また、ファイルは記録の開始・停止の操作により1つのクリップとして保存され、サムネイ ルデータと連携します。T2ではブラウズタブからプロフェッショナルディスクを参照し、保 存されたこれらのクリップをサムネイルで一覧表示したり、ビンのクリップと同様に操作し たりすることができます。

XDCAM のコンテンツには、高解像度映像音声データのほかに日付や時刻、コメントなどの 付加情報と、プロキシ AV データがメタデータとして記録されています。T2 では、プロキシ データを使用しなくてもハイレゾデータを快適に再生・編集できます。

XDCAM EX とは

XDCAM EX とは、ソニー株式会社が開発した放送業務用ビデオシステムです。ExpressCard 準拠の SxS メモリーカードを記録メディアとしています。XDCAM EX では MPEG ファイル 形式で映像を記録します。圧縮フォーマットには MPEG HD が採用されています。T2 ではブ ラウズタブから SxS メモリーカードを参照し、保存されたこれらのクリップをサムネイルで 一覧表示したり、ビンのクリップと同様に操作したりすることができます。

動作確認済みドライバのバージョンについて

本製品は下記バージョン製品のドライバを対象に動作確認を行っています。

品名	バージョン
XDCAM HD デッキ(再生用) PDW-U1	XDCAM Drive Software(Windows PC 用) Ver. 3.0
SxS メモリーカードリーダー	SxS Device Driver Ver.1.1.0.0
XDCAM Browser	Ver. 1.3

対応フォーマット

XDCAM

Codec	Frame Size	Frame Rate	Bitrate	R1 [*] /P1/ P2	Import (XDCAM)	Import (XDCAM=> Grass Valley HQ AVI)
DV25	720 x 480	59.94i	25 Mbps	1 in 2 out	0	0
	720 x 576	50i	25 Mbps	1 in 2 out	0	0
IMX	720 x 486	59.94i	30 Mbps/ 40 Mbps/ 50 Mbps	1 in 2 out	0	0
	720 x 576	50i	30 Mbps/ 40 Mbps/ 50 Mbps	1 in 2 out	0	0
MPEG2	$1440 \ge 1080$	59.94i	35 Mbps	1 in 1 out	0	0
		29.97p	35 Mbps	1 in 1 out	0	0
		23.98p	35 Mbps	1 in 1 out	0	0
		50i	35 Mbps	1 in 1 out	0	0
		25p	35 Mbps	1 in 1 out	0	0
		59.94i	18 Mbps/25 Mbps	1 in 2 out	0	0
		29.97p	18 Mbps/25 Mbps	1 in 2 out	0	0
		23.98p	18 Mbps/25 Mbps	1 in 2 out	0	0
		50i	18 Mbps/25 Mbps	1 in 2 out	0	0
		25p	18 Mbps/25 Mbps	1 in 2 out	0	0
	1440 x 540	59.94i	8.75 Mbps/12.5 Mbps/ 17.5 Mbps	×	×	×
		29.97p	8.75 Mbps/12.5 Mbps/ 17.5 Mbps	×	×	×
		23.98p	8.75 Mbps/12.5 Mbps/ 17.5 Mbps	×	×	×
		50i	8.75 Mbps/12.5 Mbps/ 17.5 Mbps	×	×	×
		25p	8.75 Mbps/12.5 Mbps/ 17.5 Mbps	×	×	×
	1920 x 1080	59.94i	50 Mbps	1 in 1 out	0	0
		29.97p	50 Mbps	1 in 1 out	0	0
		23.98p	50 Mbps	1 in 1 out	0	0
		50i	50 Mbps	1 in 1 out	0	0
		25p	50 Mbps	1 in 1 out	0	0
	1280 x 720	59.94p	25 Mbps	1 in 2 out	0	0
		50p	25 Mbps	1 in 2 out	0	0
		59.94p	35 Mbps/50 Mbps	1 in 1 out	0	0
		50p	35 Mbps/50 Mbps	1 in 1 out	0	0

※ Grass Valley HQ 形式でのフォーマット

Chapter 2 T2 XDCAM Option

フォーマットごとの直接再生/FTP送受/インポート/エクスポートの可否は、次の表のとおりです。

Browse		FTP		インポート			エクスポート
リスト表示	直接再生	アップロード	ダウンロード	インポート	インポート後フォーマット	エクスポート	エクスポート後フォーマット
					XDCAM	0	XDCAM
0	0	△*	△*	0	Grass Valley HQ AVI	0	Grass Valley HQ AVI または XDCAM(MXF 単体)

※ MXF 単体ファイルとしてなら○

XDCAM EX

Container/ Codec	Frame Size	Frame Rate	Bitrate	R1 [*] /P1/ P2	Import (XDCAM EX)	Import (XDCAMEX => Grass Valley HQ AVI)
MP4/	1920 x 1080	59.94i	35 Mbps	1 in 1 out	0	0
MPEG2		50i	35 Mbps	1 in 1 out	0	0
		29.97p	35 Mbps	1 in 1 out	0	0
		25p	35 Mbps	1 in 1 out	0	0
		23.98p	35 Mbps	1 in 1 out	0	0
	1440 x 1080	59.94i	35 Mbps	1 in 1 out	0	0
		50i	35 Mbps	1 in 1 out	0	0
		29.97p	35 Mbps	1 in 1 out	0	0
		25p	35 Mbps	1 in 1 out	0	0
		23.98p	35 Mbps	1 in 1 out	0	0
		59.94i	25 Mbps	1 in 2 out	0	0
		50i	25 Mbps	1 in 2 out	0	0
	1280 x 720	59.94p	35 Mbps	1 in 1 out	0	0
		50p	35 Mbps	1 in 1 out	0	0
		29.97p	35 Mbps	1 in 1 out	0	0
		25p	35 Mbps	1 in 1 out	0	0
		23.98p	35 Mbps	1 in 1 out	0	0
		59.94p	18.3 Mbps	×	×	×
		50p	18.3 Mbps	×	×	×
		29.97p	18.3 Mbps	×	×	×
		25p	18.3 Mbps	×	×	×
		23.98p	18.3 Mbps	×	×	×
AVI/	720 x 480	59.94i	25 Mbps	1 in 2 out	0	0
DV	720 x 576	50i	25 Mbps	1 in 2 out	0	0

※ Grass Valley HQ 形式でのフォーマット

フォーマットごとの直接再生/FTP送受/インポート/エクスポートの可否は、次の表のとおりです。

Bro	wse	FTP		インポート			エクスポート
リスト表示	直接再生	アップロード	ダウンロード	インポート	インポート後フォーマット	エクスポート	エクスポート後フォーマット
					XDCAM EX	0	XDCAM EX
\bigcirc	0	_∕*	_≫	0	Grass Valley HQ AVI	0	Grass Valley HQ AVI または XDCAM(MXF 単体)

※単体ファイル(*.mp4、*.avi)としてなら○

T2 とデバイスの接続

VFAM/FAM、SAM とは

T2 とデバイスを接続する際の FAM 接続(i.Link 接続)と VFAM 接続(USB 接続)は、映 像と音声とを1つとして保存したファイルにアクセスが可能です。FAM(File Access Mode) 接続と VFAM(Virtual Access Mode)は互換性があります。SAM(Simple Access Mode) 接続は、映像と音声をそれぞれ別ファイルとして保存したファイルにアクセス可能です。

T2 XDCAM Option は SAM 接続には対応しておりません。

T2 と XDCAM ドライブ (PDW-U1)の接続

あらかじめ PDW-U1 対応の XDCAM FAM Driver を OS (C:) ドライブにご用意ください。 XDCAM FAM Driver のソフトウェア情報やインストール方法について詳しくは、PDW-U1 の 取扱説明書またはソニー株式会社の Web サイトを参照してください。

▲ 注 意: T2 と PDW-U1 を接続する前に、対応の XDCAM FAM Driver を T2 にイン ストールしてください。

- 1. メンテナンスモードで起動する
 - メンテナンスモードの起動方法は T2 メンテナンスマニュアルを参照してください。

2. XDCAM FAM Driver をインストールする

- XDCAM FAM Driver のインストール方法について詳しくは、PDW-U1 の取扱説明書またはソ ニー株式会社の Web サイトを参照してください。
- 3. メンテナンスモードを終了し、通常モードで再起動する

▲ 注 意:ご使用の環境により、XDCAM FAM Driver のインストール完了時に T2 の 再起動を要求される場合があります。その場合はメンテナンスモード状態の まま再起動を行い、T2 起動後に通常モード (CommandCenter) に切り替えて ください。 Chapter 2 T2 XDCAM Option

4. T2 と PDW-U1 を USB ケーブルで接続する



- PDW-U1 と電源コードの接続については、PDW-U1 の取扱説明書を参照してください。
- **5.** PDW-U1 の電源を入れ、プロフェッショナルディスクを挿入する
 - 新しいリムーバブル機器が接続された旨のメッセージが表示されます。

プロフェッショナルディスクの取り出し

1. ブラウズタブで XDCAM を右クリックし、Disconnect all をクリックする



- 2. Yes をクリックする
- **3.** PDW-U1のEJECT ボタンを押す

POINT:ドライブを取り外す場合はメニューバーの **Option** をクリックし、**Remove Device...** をクリックしてください。

T2 と SxS メモリーカード USB リーダーライター(SBAC-US10) の接続

1. T2 と SBAC-US10 を USB ケーブルで接続する



• SBAC-US10 と電源コードの接続については、SBAC-US10の取扱説明書を参照してください。

SxS メモリーカードの取り出し

- 1. ブラウズタブで XDCAM EX を右クリックし、Disconnect all をクリックする
- 2. Yes をクリックする
- 3. SxS メモリーカードを抜き取る

XDCAM を使用したワークフロー

XDCAM ドライブ内の素材の再生

プロフェッショナルディスク内に保存されているファイルをT2にロードし、再生できます。

- **1.** プロフェッショナルディスクを PDW-U1 に挿入する
 - ブラウズタブの XDCAM ノードにドライブ名が追加され、クリップ一覧が表示されます。

注 意: XDCAM を自動的に認識しない場合は、ブラウズタブの…をクリックし、フォルダの参照ダイアログでドライブを選択して OK をクリックしてください。



 クリップを選択して右クリックし、Load to P1 または Load to P2 をクリック する

チャンネルの選択後、クリップをP1/P2チャンネルにドラッグ&ドロップする、もしくはクリップをダブルクリックすることでもロードできます。

3. ロードしたチャンネルの再生をクリックする

▲ 注 意:In点、Out点の設定はできますが、In-Out点間のみのインポートはできません。

XDCAM 素材のインポート (ネイティブインポート/ Grass Valley HQ AVI に変換してインポート)

プロフェッショナルディスク内に保存されているファイルを、XDCAM フォーマットのまま、 または Grass Valley HQ AVI に変換してから T2 にインポートできます。

▲ 注 意: XDCAM 素材のネイティブインポートでは、ルートフォルダ直下のすべての ファイルと、General フォルダ、Clip フォルダ、Sub フォルダ、Edit フォル ダが T2 にコピーされます。各フォルダ内のファイルについては、インポート で選択したファイルに関連するもののみコピーされます。

POINT: XDCAM フォーマットの素材とそれ以外のフォーマットの素材が混在するプレイ リストでも再生することができます。

- **POINT**: XDCAM フォーマットのままインポートした後、Grass Valley HQ AVI に変換す ることもできます。
- **1.** ブラウズタブで、XDCAM クリップを表示する
- 2. インポートするクリップを選択して右クリックし、Import... をクリックする
 - クリップは複数選択できます。
 - インポートダイアログが表示されます。
- 3. Config... をクリックする

Import		×
Delete	Up Down	Config
Name		Format
C0003		xml(MXF MPEG2 Video Elementary Stream)
C0002 C0001		xml(MXF MPEG2 Video Elementary Stream) xml(MXF MPEG2 Video Elementary Stream)
Bin:	Bin	New Bin Start Cancel

- リストの「Format」に、インポートするファイルのフォーマットが表示されます。変更の必要がない場合は、Config...で設定を変更する必要はありません。手順5に進んでください。
- **4.** 「XDCAM Import Settings」の「File format after import:」のリストからフォーマットを選択し、**OK** をクリックする
 - XDCAM フォーマットのままインポートする場合は XDCAM、Grass Valley HQ AVI に変換し てからインポートする場合は HQ を選択します。
- **POINT**:単体の MXF ファイルをインポートする場合は、「Transfer」ツリーの **MXF** をク リックし、「File format after import:」のリストからフォーマットを選択します。

Chapter 2 T2 XDCAM Option

5. 取り込み先のビンを選択する



- New Bin... をクリックすると、ビンを新規作成して取り込み先に指定できます。
- インポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Upまたは Down をクリックして インポートする順番を変更できます。
- インポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Delete をクリックすると、イン ポートする候補からクリップを削除できます。
- 6. Start をクリックする
 - インポートが開始されます。転送画面で進捗を確認できます。
 - ▲ 注 意:初期設定では、録画中または再生中は、転送と変換が一時停止状態となります。録画中/再生中も転送と変換を行う設定に変更する場合は、Config.をクリックし、「Transfer」ツリーの Common をクリックします。設定画面内の Pause file transfers while recording or playing out. のチェックを外すと、録画中/再生中も転送と変換が可能になります。ただし、チェックを外すと録画/再生動作が正常に行われない場合がありますので、チェックを入れた状態でのご使用を推奨します。

ビンに登録した XDCAM 素材を Grass Valley HQ AVI に変換

ビンに登録されている XDCAM フォーマットのクリップを、Grass Valley HQ AVI クリップ に変換できます。

- **POINT**: XDCAM フォーマットの素材とそれ以外のフォーマットの素材が混在するプレイ リストでも T2 で再生することができます。
- 1. ビンタブでクリップを表示する
- 変換するクリップを選択して右クリックし、Convert→Convert to AVI(Grass Valley HQ) をクリックする
 - クリップは複数選択できます。

- 3. Yes をクリックする
 - 変換が開始されます。転送画面で進捗を確認できます。
 - •変換されたクリップは、もとのクリップと同じビンへ新たに保存されます。
 - ▲ 注 意:初期設定では、録画中または再生中は、転送と変換が一時停止状態となります。録画中/再生中も転送と変換を行う設定に変更する場合は、Config.をクリックし、「Transfer」ツリーの Common をクリックします。設定画面内の Pause file transfers while recording or playing out.のチェックを外すと、録画中/再生中も転送と変換が可能になります。ただし、チェックを外すと録画/再生動作が正常に行われない場合がありますので、チェックを入れた状態でのご使用を推奨します。

FTP で XDCAM 素材を T2 に送受信

FTP を利用して、他のデバイスや編集端末などから T2 に接続し、素材のアップロード/ダウンロードができます。まず T2 で FTP サーバーの設定を行います。

- ▲ 注 意: FTP で T2 から XDCAM 素材をアップロード/ダウンロードする際、XDCAM フォーマットの MXF 単体ファイルのみアップロード/ダウンロードできます。
- ▲ 注 意: FTP で T2 に XDCAM 素材をアップロードする際、MXF インポート設定で インポート後のファイルの種類が「AVI (HQ)」に設定されていると、アッ プロード後、Grass Valley HQ AVI に変換されます。
- ▲ 意:ファイル名に日本語を使用する場合は、あらかじめFTPクライアント側でファイル名の文字セットを UTF-8 に設定してください。文字セットが異なると、正しいファイル名を表示できません。設定方法はお使いのソフトウェアによって異なりますので、ヘルプなどを参照してください。
- **1. Config.** *を*クリックする



- 2. [General] ツリーの Network-1 をクリックする
- 3. IP アドレス、DNS サーバーのアドレスを設定する

Chapter 2 T2 XDCAM Option

- **4.** 「General」 ツリーの **FTP** をクリックする
- 5. Settings... をクリックする

Configuration	x
General Hardware Network-1 Network-2 Network-3 FTP Metwork-3 FTP FTP Metwork-3 FTP	FTP Server Settings User Name : Settings Password : Maximum number of clients : 5 Bin(root directory) : Default Start Stop Imit the FTP transfer rate while recording or playing. FTP Export List When exporting contents, an FTP server can be selected from the list given
Viceo Monitor & Remote ProcAmp Transfer Common AVCHD AVL MXF NDCAM P2 GF Playlist	Below as a destination. Setting Name Host Name / IP Address Directory Add Delete Change

- 設定を変更する場合は、FTPを停止させてから Settings... をクリックします。
- 6. FTP サーバーの設定を行い、OK をクリックする
- 7. Start をクリックし、OK をクリックする

Configuration	
General Hardware Hotwark 1	FTP Server
Network-2	Dassword : ftranassword
Network-3 <mark>FTP</mark>	Maximum number of clients : 5
	Bip(root directory) : Default
■-P1 Video Monitor & Remote	Limit the FTP transfer rate while recording or playing.
ProcAmp	FTP Export List
■ P2 - Video - Manitar & Parasta	When exporting contents, an FTP server can be selected from the list given below as a destination.
- ProcAmp	Setting Name Host Name / IP Address Directory
— P2 — GF — Playlist	
Default	OK Cancel Apply

• Limit the FTP transfer rate while recording or playing. にチェックを入れると、録 画中および再生中の FTP アップロード/ダウンロードの転送レートが制限されます。

XDCAM を使用したワークフロー

- 8. クライアントから T2 にアクセスする
 - アドレスは Network-1 で設定した IP アドレス、ユーザー名とパスワードは FTP で設定した ユーザー名とパスワードを入力して T2 に FTP 接続します。
- **9.** データのアップロード、ダウンロードを行う
 - ▲ 注 意:初期設定では、録画中または再生中は、転送と変換が一時停止状態となります。録画中/再生中も転送と変換を行う設定に変更する場合は、Config.をクリックし、「Transfer」ツリーの Common をクリックします。設定画面内の Pause file transfers while recording or playing out. のチェックを外すと、録画中/再生中も転送と変換が可能になります。ただし、Pause file transfers while recording or playing out. と、手順7のLimit the FTP transfer rate while recording or playing.の両方チェックを外すと、録画/再生動作が正常に行われない場合がありますので、チェックを入れた状態でのご使用を推奨します。

XDCAM フォーマットでファイル出力

XDCAM フォーマットのままインポートしたクリップを XDCAM フォーマットでエクスポー トできます。

エクスポート時の注意事項については、「T2 エクスポートに関する注意事項」(→ P.116)を参 照してください。

- POINT: Grass Valley HQ AVI クリップを XDCAM フォーマットの MXF 単体ファイルに変換 して出力することもできます。詳しくは「Grass Valley HQ AVI を MXF (XDCAM 形 式) に変換してファイル出力」(→ P.71) を参照してください。
 - ♪ 注 意: XDCAM 素材のネイティブインポートでは、ルートフォルダ直下のすべての ファイルと、General フォルダ、Clip フォルダ、Sub フォルダ、Edit フォル ダが T2 にコピーされます。各フォルダ内のファイルについては、インポー トで選択したファイルに関連するもののみコピーされます。ネイティブイン ポートされたクリップを変換せずそのまま出力した場合、インポート時に T2 にコピーされなかったファイルやフォルダを使用する機器で、出力したク リップを正しく扱えない場合があります。
- 1. ビンタブでクリップを表示する
- 2. 出力する XDCAM フォーマットのクリップを選択して右クリックし、Export→Export Media Files... をクリックする
 - クリップは複数選択できます。
 - エクスポートの補足事項についてのメッセージが表示されます。内容を確認し、OKをクリックします。
 - エクスポートダイアログが表示されます。

Chapter 2 T2 XDCAM Option

3. Browse... をクリックし、出力先を設定する



- エクスポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Upまたは Down をクリックしてエクスポートする順番を変更できます。
- エクスポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Delete をクリックすると、エクスポートする候補からクリップを削除できます。
- **4. Start** *を*クリックする
 - エクスポートが開始されます。転送画面で進捗を確認できます。
 - ▲ 注 意:初期設定では、録画中または再生中は、転送と変換が一時停止状態となります。録画中/再生中も転送と変換を行う設定に変更する場合は、Config.をクリックし、「Transfer」ツリーの Common をクリックします。設定画面内の Pause file transfers while recording or playing out.のチェックを外すと、録画中/再生中も転送と変換が可能になります。ただし、チェックを外すと録画/再生動作が正常に行われない場合がありますので、チェックを入れた状態でのご使用を推奨します。

XDCAM を使用したワークフロー

EDIUS 6 から MXF フォーマットで出力

EDIUS 6 ターンキーシステムで作成したプロジェクトを、FTP 経由で T2 に出力できます。

あらかじめ EDIUS 6 と T2 の両方で、FTP サーバーの設定が必要です。T2 の FTP 設定については、「FTP で XDCAM 素材を T2 に送受信」(→ P.23) を参照してください。

EDIUS 6 では、システム設定の「インポーター/エクスポーター」ツリーを開き、「MXF」の FTP サーバーで設定します。詳しくは EDIUS 6 リファレンスマニュアルを参照してください。

システム設定			×
œ アプリケーション	FTPサーバー		
 ヨーハードワェノ ヨーインポーター/エクスポーター 	サーバーリスト(S)		
AVCHD Audio CD/DVD	T2		追加(A)
静止曲 GF			肖
GXF Infinity			変更(M)
······································			
-XF			
■ 入力コントローラー			
	設定内容		
	アドレス		
	术一下番号		
	ディレクトリ		
	ユーサー名		
		OK キャンセル	適用(A)

- ▲ 注 意: EDIUS 6 から MXF フォーマットでプロジェクトを出力するには、EDIUS 6 ターンキーワークステーション用の BC Export Option が必要です。
- 1. レコーダーのエクスポートをクリックし、ファイルへ出力をクリックする



2. ファイルへ出力ダイアログのカテゴリーツリーで、MXF をクリックする

- 3. エクスポーターから「MPEG2 MXF」を選択し、出力をクリックする
 - プロジェクト設定が出力フォーマットと異なる場合、「MPEG2 MXF」は表示されません。変換処理を有効にするにチェックを入れてエクスポーターを選択してください。

ファイルへ出力			×
GF GXF H264/AVC	▲ エクスポーター エ クスポータ ー	[說8月 	
- HDV - Infinity - MPEQ - MPEQ - P2 - QuickTime - Windows Media - XDCAM - オーディオ - その他	AVCIntra MXF	AVCintra MXF ファイルエクスポータープラグイン MPEG2 MXF ファイルエクスポータープラグイン	
□ In/Out点間のみ出力する(B) □ 変換処理を有効にする(E)	□ タイムコードを表示する(T) ☑ 16bit/2chで出力する(C)	槍索(S)	
▶ 詳細設定 既定値として保存(D) 目	X 🔹 🚅		//

4. クリップ名を入力し、出力先で FTP を選択する

MPEG2 M	IXF								>
りい 出力先 	タ名(C) ォルダー(F)							参照	2 2
⊙ F	TP(T) 名 	前]T2	アドレ	ス		ディレクト /Bin	יב עי	ーザー名	
		ファイルが存在し 一時ファイルに出 FTP出力時は、打	と場合、_ 力した後 広張子を	上書き ^っ 、FTP(つけな(する。 こアップロー ヽ。	ドする。			
4	唯所時、ファイル	を残す。							
ביד ביד	ード設定 2グメントエンコ・	-K			GOP構造		IBBP	_	•
ピット	レート 平均	© CBR () VBR	ops	೮クチ∗ □ ೦	r枚数 losed G() DP		15
	最大	25000000		ops	色形式		4:2:0		-
品質	/速度	高速	-		プロファイル	./I/N	MP@H	114L	•
77-	・ルドオーダー	現在の設定		v					
_オーテ	「ィオ設定――								
能力	テャンネル数	現在の設定	-	チャン	ネル数/ト:	ラック	1ch		
量	子化ビット数	現在の設定	-	形式			AES3		
৶৴	テム形式	SDTI-CP	•	KAG	サイズ		512		-
						OK		*	ャンセル

- 5. 設定を行い、OK をクリックする
 - •レンダリングが開始されます。T2の転送画面で進捗を確認できます。

XDCAM EX を使用したワークフロー

XDCAM EX を使用したワークフロー

SxS メモリーカード内の素材の再生

SxS メモリーカード内に保存されているファイルをT2 にロードし、再生できます。

- **1.** SBAC-US10 に SxS メモリーカードを挿入する
- **2.** ブラウズタブで XDCAM EX の ... をクリックする

Folder Transfer	Config. 🗙
Bin Browse Recycl	e Bin Search
🗖 Removable Media	
🗖 XDCAM	
📩 XDCAM EX	
P2	
GF	

- 3. フォルダの参照ダイアログで XDCAM EX ドライブを選択し、OK をクリックする
 - ブラウズタブの XDCAM EX ノードにドライブ名が追加され、クリップ一覧が表示されます。
- **4.** クリップを選択して右クリックし、Load to P1 または Load to P2 をクリック する
 - チャンネルの選択後、クリップをP1/P2チャンネルにドラッグ&ドロップする、もしくはクリップをダブルクリックすることでもロードできます。
- 5. ロードしたチャンネルの再生をクリックする

∧ 注 意: In点、Out点の設定はできますが、In-Out点間のみのインポートはできません。

XDCAM EX 素材のインポート (ネイティブインポート/ Grass Valley HQ AVI に変換してインポート)

SxS メモリーカード内に保存されているファイルを、XDCAM EX フォーマットのまま、また は Grass Valley HQ AVI に変換してから T2 にインポートできます。

- ▲ 注 意: XDCAM EX 素材のネイティブインポートでは、ルートフォルダ直下のすべて のファイルと、CLPR フォルダ、TAKR フォルダが T2 にコピーされます。各 フォルダ内のファイルについては、インポートで選択したファイルに関連する もののみコピーされます。
- **POINT**: XDCAM EX フォーマットの素材とそれ以外のフォーマットの素材が混在するプレイリストでも再生することができます。
- **POINT**: XDCAM EX フォーマットのままインポートした後、Grass Valley HQ AVI に変換 することもできます。
- 1. ブラウズタブで、XDCAM EX クリップを表示する
- 2. インポートするクリップを選択して右クリックし、Import... をクリックする
 - クリップは複数選択できます。
 - インポートダイアログが表示されます。
- 3. Config... をクリックする

Import		×
Delete	Up Down	Config
Name		Format
709_3752_01		xml(MPEG2 Video)
709_3752_02		xml(MPEG2 Video)
709_3752_03		xml(MPEG2 Video)
Bin:	Bin	New Bin
2000 (2000) 	Comm.	
		Start Cancel
3 <u>6</u>		

- リストの「Format」に、インポートするファイルのフォーマットが表示されます。変更の必要がない場合は、Config... で設定を変更する必要はありません。手順5に進んでください。
- **4.** 「XDCAM EX Import Settings」の「File format after import:」のリストからフォー マットを選択し、**OK** をクリックする
 - XDCAM EX フォーマットのままインポートする場合は XDCAM EX、Grass Valley HQ AVI に変換してからインポートする場合は HQ を選択します。

5. 取り込み先のビンを選択する

Import	×
Delete Up Down	Config
Name Format	
709_3752_01 xml(MPEG2 Video)	
709_3752_02 xml(MPEG2 Video)	
709_3752_03 xml(MPEG2 Video)	
Bin: 🗾 Bin 🔍 New Bin	
Start	Cancel

- New Bin... をクリックすると、ビンを新規作成して取り込み先に指定できます。
- インポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Upまたは Down をクリックして インポートする順番を変更できます。
- インポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Delete をクリックすると、イン ポートする候補からクリップを削除できます。
- 6. Start をクリックする
 - インポートが開始されます。転送画面で進捗を確認できます。
 - ▲ 注 意:初期設定では、録画中または再生中は、転送と変換が一時停止状態となります。録画中/再生中も転送と変換を行う設定に変更する場合は、Config.をクリックし、「Transfer」ツリーの Common をクリックします。設定画面内の Pause file transfers while recording or playing out.のチェックを外すと、録画中/再生中も転送と変換が可能になります。ただし、チェックを外すと録画/再生動作が正常に行われない場合がありますので、チェックを入れた状態でのご使用を推奨します。

ビンに登録した XDCAM EX 素材を Grass Valley HQ AVI に変換

ビンに登録されている XDCAM EX フォーマットのクリップを、Grass Valley HQ AVI クリッ プに変換できます。

- **POINT:**XDCAM EX フォーマットの素材とそれ以外のフォーマットの素材が混在するプレイリストでも T2 で再生することができます。
- 1. ビンタブでクリップを表示する
- 変換するクリップを選択して右クリックし、Convert→Convert to AVI(Grass Valley HQ) をクリックする
 - クリップは複数選択できます。

- 3. Yes をクリックする
 - 変換が開始されます。転送画面で進捗を確認できます。
 - 変換されたクリップは、もとのクリップと同じビンへ新たに保存されます。
 - ▲ 注 意:初期設定では、録画中または再生中は、転送と変換が一時停止状態となります。録画中/再生中も転送と変換を行う設定に変更する場合は、Config.をクリックし、「Transfer」ツリーの Common をクリックします。設定画面内の Pause file transfers while recording or playing out.のチェックを外すと、録画中/再生中も転送と変換が可能になります。ただし、チェックを外すと録画/再生動作が正常に行われない場合がありますので、チェックを入れた状態でのご使用を推奨します。

FTP で XDCAM EX 素材を T2 に送受信

FTP を利用して、他のデバイスや編集端末などから T2 に接続し、素材のアップロード/ダウンロードができます。FTP で XDCAM EX 素材を T2 に送受信する手順は、XDCAM 素材 を T2 に送受信する手順と同様です。詳しくは、「FTP で XDCAM 素材を T2 に送受信」(→ P.23) を参照してください。

- ▲ 注 意: FTP で T2 から XDCAM EX 素材をアップロード/ダウンロードする際、 XDCAM EX フォーマットの単体ファイル (*.mp4、*.avi)のみアップロード /ダウンロードできます。
- ▲ 注 意: FTP で T2 に XDCAM EX 素材をアップロードする際、MXF インポート設定でインポート後のファイルの種類が「AVI (HQ)」に設定されていると、アップロード後、Grass Valley HQ AVI に変換されます。
- ▲ 意:ファイル名に日本語を使用する場合は、あらかじめFTPクライアント側でファ イル名の文字セットを UTF-8 に設定してください。文字セットが異なると、 正しいファイル名を表示できません。設定方法はお使いのソフトウェアによっ て異なりますので、ヘルプなどを参照してください。

XDCAM EX フォーマットでファイル出力

XDCAM EX フォーマットのままインポートしたクリップを XDCAM EX フォーマットでエ クスポートできます。

エクスポート時の注意事項については、「T2 エクスポートに関する注意事項」(→ P.116) を参照してください。

▲ 注 意: XDCAM EX 素材のネイティブインポートでは、ルートフォルダ直下のすべて のファイルと、CLPR フォルダ、TAKR フォルダが T2 にコピーされます。各 フォルダ内のファイルについては、インポートで選択したファイルに関連する もののみコピーされます。ネイティブインポートされたクリップを変換せず そのまま出力した場合、インポート時に T2 にコピーされなかったファイル やフォルダを使用する機器で、出力したクリップを正しく扱えない場合があ ります。

- 1. ビンタブでクリップを表示する
- 2. 出力する XDCAM EX フォーマットのクリップを選択して右クリックし、 Export→Export Media Files... をクリックする
 - クリップは複数選択できます。
 - エクスポートの補足事項についてのメッセージが表示されます。内容を確認し、OK をクリックします。
 - エクスポートダイアログが表示されます。
- 3. Browse... をクリックし、出力先を設定する

Export		×
Delete	Down	Config
Name	Format	
709_3752_01	xml(MPEG2	Video)
Export path:	Browse	Start Cancel

- エクスポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Up または Down をクリックしてエクスポートする順番を変更できます。
- エクスポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Delete をクリックすると、エクスポートする候補からクリップを削除できます。
- **4. Start** *を*クリックする
 - エクスポートが開始されます。
 - ▲ 注 意:初期設定では、録画中または再生中は、転送と変換が一時停止状態となります。録画中/再生中も転送と変換を行う設定に変更する場合は、Config.をクリックし、「Transfer」ツリーの Common をクリックします。設定画面内の Pause file transfers while recording or playing out. のチェックを外すと、録画中/再生中も転送と変換が可能になります。ただし、チェックを外すと録画/再生動作が正常に行われない場合がありますので、チェックを入れた状態でのご使用を推奨します。

Chapter 2 T2 XDCAM Option

T2 P2 Option

この章は次のように構成されています。

- [P2 とは」 (→ P.36)
- 「動作確認済みドライバのバージョンについて」(→ P.36)
- 「対応フォーマット」 (→ P.37)
- 「T2 とデバイスの接続」 (→ P.39)
 - •「T2とP2ドライブ (AJ-PCD20)の接続」(→ P.39)
 - 「P2 カードの取り出し」 (→ P.40)
- 「P2 を使用したワークフロー」 (→ P.41)
 - 「P2 ドライブ内の素材の再生」 (→ P.41)
 - •「P2 素材のインポート(ネイティブインポート/ MXF (OP-1a) に変換してインポート/ Grass Valley HQ AVI に変換してインポート)」 (→ P.42)
 - 「ビンに登録した P2 素材を MXF(OP-1a)/ Grass Valley HQ AVI に変換」(→ P.44)
 - 「P2 フォーマットでファイル出力」 (→ P.44)
 - 「EDIUS 6 から AVC-Intra MXF ファイルを出力」 (→ P.46)

P2とは

P2 とは、パナソニック株式会社が開発した放送業務用映像システムです。記録メディアとして使用する P2 カードは、半導体メモリーカードであるため、IT インフラとの高速転送やカード内に保存されたファイルの直接編集が可能です。

P2 では MXF ファイル形式で映像を記録します。圧縮フォーマットには AVC-Intra 100、 AVC-Intra 50、DVCPRO HD、DVCPRO50、DVCPRO/DV (DVCPRO25)があり、T2 P2 Option はこれらのフォーマットすべてに対応しています。また、ファイルは記録の開始・停止の操 作により1つのクリップとして保存され、サムネイルデータと連携します。T2 ではブラウズ タブから P2 カードを参照し、保存されたこれらのクリップをサムネイルで一覧表示したり、 ビンのクリップと同様に操作したりすることができます。

P2 のコンテンツには、高解像度映像音声データのほかに日付や時刻、コメントなどの付加情報と、プロキシ AV データがメタデータとして記録されています。T2 ではこれらのメタデータ(XML およびプロキシデータ)もまとめてインポートできます。

P2 では、P2 カードスロットを複数搭載したカメラレコーダーのホットスワップ機能を利用す るなどして、複数カードをまたいで映像を収録することが可能です。T2 では、これらの映像 を別々のクリップとして管理します。

動作確認済みドライバのバージョンについて

本製品は下記バージョン製品のドライバを対象に動作確認を行っています。

品名	バージョン
メモリーカード・ドライブ "P2 drive"	P2 ドライバーインストーラー
AJ-PCD20	パッケージバージョン 2.16
対応フォーマット

Codec	Frame Size	Frame Rate	R1 ^{* 1} /P1/P2	Import (P2)	Import (P2=>Grass Valley HQ AVI)
DV	720 x 480	59.94i	1 in 2 out	0	0
DVCPRO		29.97p (over 59.94i)	1 in 2 out	0	0
		23.98p (over 59.94i)	1 in 2 out	0	0
		23.98A (over 59.94i)	1 in 2 out	0	0
	720 x 576	50i	1 in 2 out	0	0
		25p (over 50i)	1 in 2 out	0	0
DVCPRO50	720 x 480	59.94i	1 in 2 out	0	0
		29.97p (over 59.94i)	1 in 2 out	0	0
		23.98p (over 59.94i)	1 in 2 out	0	0
		23.98A (over 59.94i)	1 in 2 out	0	0
	720 x 576	50i	1 in 2 out	0	0
		25p (over 50i)	1 in 2 out	0	0
DVCPROHD	1280 x 1080	59.94i	1 in 2 out	0	0
		29.97p (over 59.94i)	1 in 2 out	0	0
		23.98p (over 59.94i)	1 in 2 out	0	0
		23.98pA (over 59.94i)	1 in 2 out	0	0
	1440 x 1080	50i	1 in 2 out	0	0
		25p (over 50i)	1 in 2 out	0	0
DVCPROHD	960 x 720	59.94p	1 in 2 out	0	0
		29.97p (over 59.94p)	1 in 2 out	0	0
		29.97pN	1 in 2 out	0	0
		23.98p (over 59.94p)	1 in 2 out	0	0
		23.98pN	1 in 2 out	0	0
		50p	1 in 2 out	0	0
		25p (over 50p)	1 in 2 out	0	0
		25pN	1 in 2 out	0	0
AVC-Intra50	1440 x 1080	59.94i	0 in 1 out	0	0
		29.97p	—	×* ²	0
		23.98p	0 in 1 out	0	0
		50i	0 in 1 out	0	0
		25p	—	× ** 2	0
	960 x 720	59.94p	0 in 1 out	0	0
		29.97p	—	× ** 2	0
		23.98p	0 in 1 out	0	0
		50p	0 in 1 out	0	0
		25p	_	× × 2	0

Chapter 3 T2 P2 Option

Codec	Frame Size	Frame Rate	R1 ^{* 1} /P1/P2	Import (P2)	Import (P2=>Grass Valley HQ AVI)
AVC-Intra100	1920 x 1080	59.94i	0 in 1 out	0	0
		29.97p	_	× * 2	0
		23.98p	0 in 1 out	0	0
		50i	0 in 1 out	0	0
		25p	_	× * 2	0
	1280 x 720	59.94p	0 in 1 out	0	0
		29.97p	_	× * 2	0
		23.98p	0 in 1 out	0	0
		50p	0 in 1 out	0	0
		25p		× * 2	0

※1 Grass Valley HQ 形式でのフォーマット。

*2 AVC-Intra50/100のうち、T2の出力プロファイルに合致しないものは、強制的に Grass Valley HQ AVI に変換されます。 フォーマットごとの直接再生/FTP 送受/インポート/エクスポートの可否は、次の表のと おりです。

• AVC-Intra100 (1920 x 1080 59.94i/50i/23.98p, 1280 x 720 59.94p/50p)

Bro	Browse FTP		インポート		エクスポート		
リスト表示	直接再生	アップロード	ダウンロード	インポート	インポート後フォーマット	エクスポート	エクスポート後フォーマット
					P2	0	P2
~	-				MXF (OP-1a)	0	MXF (OP-1a)
0	0	个可	个可	0	Grass Valley HQ AVI	0	Grass Valley HQ AVI または XDCAM(MXF 単体)

備考: T2の出力フォーマットに合致するので、P2形式、MXF(OP-1a)形式、または Grass Valley HQ AVI 形式でインポー ト可能です。

• AVC-Intra100 (1920 x 1080 29.97p/25p)

Browse FTP		インポート		エクスポート			
リスト表示	直接再生	アップロード	ダウンロード	インポート	インポート後フォーマット	エクスポート	エクスポート後フォーマット
0	不可	不可	不可	0	Grass Valley HQ AVI	0	Grass Valley HQ AVI または XDCAM(MXF 単体)

備考:T2の出力フォーマットに合致するものがないので、必ずGrass Valley HQ AVI 形式に変換されます。

• AVC-Intra50 (1440 x 1080 59.94i/50i/23.98p、 960 x 720 59.94p/50p)

Bro	wse	FT	ΓP		インポート	エクスポート	
リスト表示	直接再生	アップロード	ダウンロード	インポート	インポート後フォーマット	エクスポート	エクスポート後フォーマット
					P2	0	P2
\sim					MXF (OP-1a)	0	MXF (OP-1a)
0	0	个可	个印	0	Grass Valley HQ AVI	0	Grass Valley HQ AVI または XDCAM(MXF 単体)

備考:T2の出力フォーマットに合致するので、P2形式、MXF (OP-1a)形式、または Grass Valley HQ AVI 形式でインポー ト可能です。

T2 とデバイスの接続

• AVC-Intra50 (1440 x 1080 29.97p/25p)

Browse FTP		インポート		エクスポート			
リスト表示	直接再生	アップロード	ダウンロード	インポート	インポート後フォーマット	エクスポート	エクスポート後フォーマット
0	不可	不可	不可	0	Grass Valley HQ AVI	0	Grass Valley HQ AVI または XDCAM(MXF 単体)

備考:T2の出力フォーマットに合致するものがないので、必ず Grass Valley HQ AVI 形式に変換されます。

• DVCPRO

Bro	wse	FT	ſP		インポート		エクスポート
リスト表示	直接再生	アップロード	ダウンロード	インポート	インポート後フォーマット	エクスポート	エクスポート後フォーマット
					P2	0	P2
					MXF (OP-1a)	\bigcirc	MXF (OP-1a)
	0	个可	个可	0	Grass Valley HQ AVI	0	Grass Valley HQ AVI または XDCAM(MXF 単体)

T2 とデバイスの接続

T2 と P2 ドライブ(AJ-PCD20)の接続

あらかじめ AJ-PCD20 対応の P2 ドライバ Windows (32bit) 用を OS (C:) ドライブにご用意く ださい。P2 ドライバのソフトウェア情報やインストール方法について詳しくは、AJ-PCD20 の取扱説明書またはパナソニック株式会社の Web サイトを参照してください。

- 1. メンテナンスモードで起動する
 - メンテナンスモードの起動方法は T2 メンテナンスマニュアルを参照してください。
- 2. AJ-PCD20 を接続し、P2 ドライバをインストールする
 - P2 ドライバのインストール方法について詳しくは、AJ-PCD20 に付属の取扱説明書またはパナ ソニック株式会社の Web サイトを参照してください。
- 3. メンテナンスモードを終了し、通常モードで再起動する

▲ 注 意:ご使用の環境により、P2ドライバのインストール完了時に T2 の再起動を要求される場合があります。その場合はメンテナンスモード状態のまま再起動を行い、T2 起動後に通常モード (CommandCenter) に切り替えてください。

- **4.** AJ-PCD20 の電源コードを接続する
 - 電源プラグ、ACアダプター、AJ-PCD20を接続すると電源が入ります。詳しくは AJ-PCD20 に 付属の取扱説明書を参照してください。

5. T2とAJ-PCD20をUSBケーブルまたはIEEE1394ケーブルで接続し、P2カードを挿入する



- 各ケーブルについて詳しくは、AJ-PCD20 に付属の取扱説明書を参照してください。
- 新しいリムーバブル機器が接続された旨のメッセージが表示されます。

P2 カードの取り出し

1. ブラウズタブで P2 を右クリックし、Disconnect all をクリックする



- 2. Yes をクリックする
- **3.** AJ-PCD20 の EJECT ボタンを押す
- POINT:ドライブを取り外す場合はメニューバーの Option をクリックし、Remove Device... をクリックしてください。

P2 を使用したワークフロー

P2 ドライブ内の素材の再生

P2 カード内に保存されているファイルを T2 にロードし、再生できます。

- ▲ 注 意: AVCIntra 100、AVCIntra 50 の P2 クリップは 10ut のみ可能です。R1 チャンネルで録画中、P1/P2 チャンネルで再生または別のクリップをロード中などに AVCIntra 100、AVCIntra 50 の P2 クリップを再生するには、録画・再生を停止またはクリップをアンロードする必要があります。
- **1.** P2 カードを AJ-PCD20 に挿入する
- 2. ブラウズタブで P2の ... をクリックする



- 3. フォルダの参照ダイアログで P2 ドライブを選択し、OK をクリックする
 - ブラウズタブの P2 ノードにドライブ名が追加され、クリップ一覧が表示されます。
- 4. クリップを右クリックし、Load to P1 または Load to P2 をクリックする
 - チャンネルの選択後、クリップをP1/P2チャンネルにドラッグ&ドロップする、もしくはクリップをダブルクリックすることでもロードできます。
- 5. ロードしたチャンネルの再生をクリックする

P2 素材のインポート (ネイティブインポート/ MXF (OP-1a) に変換してインポート/ Grass Valley HQ AVI に変換してインポート)

P2 カード内に保存されているファイルを、P2 フォーマットのまま、または MXF (OP-1a) / Grass Valley HQ AVI に変換してから T2 にインポートできます。MXF (OP-1a) に変換して インポートする場合、コーデックはそのままでインポートされます。

- ♪ 注意: P2素材のネイティブインポートでは、ルートフォルダ直下のすべてのファ イルと、CONTENTS フォルダとそのサブフォルダ(AUDIO フォルダ、 CLIP フォルダ、ICON フォルダ、PROXY フォルダ、VIDEO フォルダ、 VOICE フォルダ)がコピーされます。各フォルダ内のファイルについては、 インポートで選択したファイルに関連するもののみコピーされます。
- ▲ 注 意: AVCIntra 100、AVCIntra 50 の 29.97p、25p は、Grass Valley HQ AVI に変換してインポートされます。ネイティブフォーマットのままインポートすることはできません。
- POINT: P2 フォーマットの素材とそれ以外のフォーマットの素材が混在するプレイリスト でも再生することができます。
- **POINT**: P2 フォーマットのままインポートした後、Grass Valley HQ AVI に変換すること もできます。
- **1.** ブラウズタブで、P2クリップを表示する
- 2. インポートするクリップを選択して右クリックし、Import... をクリックする
 - クリップは複数選択できます。
 - インポートダイアログが表示されます。
- 3. Config... をクリックする



• リストの「Format」に、インポートするファイルのフォーマットが表示されます。変更の必要 がない場合は、**Config...** で設定を変更する必要はありません。手順5に進んでください。

- **4.** 「File format after import:」のリストからフォーマットを選択し、**OK** をクリック する
 - P2 フォーマットのままインポートする場合は P2 MXF(OP-Atom)、MXF(OP-1a) に変換してからインポートする場合は MXF(OP-1a)、Grass Valley HQ AVI に変換してからインポートする場合は HQ を選択します。
- **POINT**:単体の MXF ファイルをインポートする場合は、「Transfer」ツリーの **MXF** をク リックし、「File format after import:」のリストからフォーマットを選択します。
- 5. 取り込み先のビンを選択する

Import			×
Delete	Up	Down	Config
Name			Format
0001KU			xml(AVC-Intra 50Mbps)
0002TU			xml(AVC-Intra 100Mbps)
0003VK			xml(AVC-Intra 50Mbps) -> avi(Grass Valley HQ)
	(
Bin:	Bin		New Bin Start Cancel

- New Bin... をクリックすると、ビンを新規作成して取り込み先に指定できます。
- インポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Up または Down をクリックして インポートする順番を変更できます。
- インポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Delete をクリックすると、イン ポートする候補からクリップを削除できます。
- **6. Start** をクリックする
 - インポートが開始されます。転送画面で進捗を確認できます。
 - ▲ 注 意:初期設定では、録画中または再生中は、転送と変換が一時停止状態となります。録画中/再生中も転送と変換を行う設定に変更する場合は、Config.をクリックし、「Transfer」ツリーの Common をクリックします。設定画面内の Pause file transfers while recording or playing out.のチェックを外すと、録画中/再生中も転送と変換が可能になります。ただし、チェックを外すと録画/再生動作が正常に行われない場合がありますので、チェックを入れた状態でのご使用を推奨します。

ビンに登録した P2 素材を MXF (OP-1a) / Grass Valley HQ AVI に変換

ビンに登録されている P2 フォーマットのクリップを、MXF (OP-1a) フォーマットまたは Grass Valley HQ AVI フォーマットのクリップに変換できます。

POINT: P2 フォーマットの素材とそれ以外のフォーマットの素材が混在するプレイリスト でも T2 で再生することができます。

- 1. ビンタブでクリップを表示する
- 変換するクリップを選択して右クリックし、Convert→Convert to MXF(OP-1a) または Convert to AVI(Grass Valley HQ) をクリックする
 - クリップは複数選択できます。
- 3. Yes をクリックする
 - •変換が開始されます。転送画面で進捗を確認できます。
 - 変換されたクリップは、もとのクリップと同じビンへ新たに保存されます。

▲ 注 意:初期設定では、録画中または再生中は、転送と変換が一時停止状態となります。録画中/再生中も転送と変換を行う設定に変更する場合は、Config.をクリックし、「Transfer」ツリーの Common をクリックします。設定画面内の Pause file transfers while recording or playing out. のチェックを外すと、録画中/再生中も転送と変換が可能になります。ただし、チェックを外すと録画/再生動作が正常に行われない場合がありますので、チェックを入れた状態でのご使用を推奨します。

P2 フォーマットでファイル出力

P2 フォーマットのままインポートしたクリップを P2 フォーマットでエクスポートできます。

エクスポート時の注意事項については、「T2 エクスポートに関する注意事項」(→ P.116)を参 照してください。

- ♪ 注意: P2素材のネイティブインポートでは、ルートフォルダ直下のすべてのファイ ルと、CONTENTS フォルダとそのサブフォルダ(AUDIO フォルダ、CLIP フォルダ、ICON フォルダ、PROXY フォルダ、VIDEO フォルダ、VOICE フォルダ)がコピーされます。各フォルダ内のファイルについては、インポー トで選択したファイルに関連するもののみコピーされます。ネイティブイン ポートされたクリップを変換せずそのまま出力した場合、インポート時に T2 にコピーされなかったファイルやフォルダを使用する機器で、出力したク リップを正しく扱えない場合があります。
- 1. ビンタブでクリップを表示する

- 2. 出力するP2フォーマットのクリップを選択して右クリックし、Export→Export Media Files... をクリックする
 - クリップは複数選択できます。
 - エクスポートの補足事項についてのメッセージが表示されます。内容を確認し、**OK** をクリックします。
 - エクスポートダイアログが表示されます。

3. Browse... をクリックし、出力先を設定する

Export				×
Delete	Up	Down		Config
Name			Format	
0001KU			xml(AVC-Intra 50M	1bps)
0002TU			xml(AVC-Intra 100	Mbps)
Export path:			Browse	Cancel

- エクスポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Up または Down をクリックしてエクスポートする順番を変更できます。
- エクスポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Delete をクリックすると、エクスポートする候補からクリップを削除できます。

4. Start *を*クリックする

- エクスポートが開始されます。転送画面で進捗を確認できます。
- ▲ 注 意:初期設定では、録画中または再生中は、転送と変換が一時停止状態となります。録画中/再生中も転送と変換を行う設定に変更する場合は、Config.をクリックし、「Transfer」ツリーの Common をクリックします。設定画面内の Pause file transfers while recording or playing out.のチェックを外すと、録画中/再生中も転送と変換が可能になります。ただし、チェックを外すと録画/再生動作が正常に行われない場合がありますので、チェックを入れた状態でのご使用を推奨します。

EDIUS 6 から AVC-Intra MXF ファイルを出力

EDIUS 6 ターンキーシステムで作成したプロジェクトを、FTP 経由で T2 に出力できます。

あらかじめ EDIUS 6 と T2 の両方で、FTP サーバーの設定が必要です。T2 の FTP 設定については、「FTP で XDCAM 素材を T2 に送受信」(→ P.23) を参照してください。

EDIUS 6 では、システム設定の「インポーター/エクスポーター」ツリーを開き、「MXF」の FTP サーバーで設定します。詳しくは EDIUS 6 リファレンスマニュアルを参照してください。

システム設定		×
	FTPサーバー	٦
∴ ハードウェア ⊡ インボーター/エクスボーター		
AVCHD Audio CD/DVD	T2 注加(A)	
GXF		
Infinity ⊞K2	变更(M)	
MPEG ⊟ MXF		
FTPサーバー デコーダー	F^(N)	
・リムーバブルメディア ンDCAM EX		
由- エフェクト 由- 入力コントローラー		
	設定内容	
	דירע דירע	
	ポート番号	
	ディレクトリ	
	ユーザー名	
	OK キャンセル 適用(A)	

▲ 注 意: EDIUS 6 から MXF フォーマットでプロジェクトを出力するには、EDIUS 6 ターンキーワークステーション用の BC Export Option が必要です。

1. レコーダーのエクスポートをクリックし、ファイルへ出力をクリックする



2. ファイルへ出力ダイアログのカテゴリーツリーで、MXF をクリックする

P2 を使用したワークフロー

- 3. エクスポーターから「AVCIntra MXF」を選択し、出力をクリックする
 - プロジェクト設定が出力フォーマットと異なる場合、「AVCIntra MXF」は表示されません。 変換処理を有効にするにチェックを入れてエクスポーターを選択してください。

ファイルヘ出力			х
- GF GXF H264/AVC HDV - Infinity MEDIAEDGE/HDMA-4000 MPEG MXF P2 QuickTime Windows Media XDCAM オーディオ - その抱	 ■ エクスポーター エクスポーター ■ AVCIntra MXF ■ MPEG2 MXF ■ 	説明 AVCintra MXF ファイルエクスポーターブラヴイン MPEG2 MXF ファイルエクスポーターブラヴイン	
 □ In/Out点間のみ出力する(B) □ 変換処理を有効にする(E) ■ 詳細型空 	□ タイムコードを表示する(T) ☑ 16bit/2chで出力する(C)	検索(S)	
既定値として保存(D)	X 🥶 😅	バッチリストに追し出力 キャンセル	

4. クリップ名を入力し、出力先で FTP を選択する

AV	CIntra MXF							×
	クリップ名(C) 出力先]
	() フォルダー(F)						参照	
	○ FTP(T)	名前 1 72	アドレス	e e	ディレクト! /Bin	ノ ユーサ	一名	
			<u>и</u> л L:	± *-+7				
		□ ファ1ルか存在しだ □ 一時ファイルに出力 ☑ FTP出力時は、拡	場合、上湾 1した後、F 張子をつけ	雪ぎする。 「TPにアップロ・ けない。	ードする。			
	□ 中断時、ファ	イルを残す。						
	オーディオ設定							
	総チャンネル数	現在の設定	- :	Fャンネル数/	トラック 10	ch	-	
	量子化ビット数	現在の設定	J.	活	A	ES3	•	
	システム形式	SDTI-CP	•	KAGサイズ	5	12	•	
				(OK		キャンセル	

5. 設定を行い、OK をクリックする

•レンダリングが開始されます。T2の転送画面で進捗を確認できます。

Chapter 3 T2 P2 Option

T2 GF Option

この章は次のように構成されています。

- $[GF \geq lt] (\rightarrow P.50)$
- 「対応フォーマット」 (→ P.50)
- 「T2 とデバイスの接続」(→ P.51)
 - 「T2とGFPAKの接続」(→ P.51)
 - 「GFPAK の取り外し」 (→ P.51)
- 「GF を使用したワークフロー」 (→ P.52)
 - •「GFPAK 内の素材の再生」 (→ P.52)
 - 「GF 素材のインポート (ネイティブインポート/ Grass Valley HQ AVI に変換してインポート)」(→ P.53)
 - 「ビンに登録した GF 素材を Grass Valley HQ AVI に変換」(→ P.54)
 - 「FTP で GF 素材を T2 に送受信」 (→ P.55)
 - •「GF フォーマットでファイル出力」(→ P.55)

GFとは

GFとは、株式会社 東芝と池上通信機株式会社が共同開発した放送業務用映像システムです。

記録メディアとして使用する GFPAK は、フラッシュメモリを記録デバイスに採用し、高速 転送を実現するSATAインターフェイスと汎用性の高いUSBインターフェイスを装備してい ます。

GF では MXF ファイル形式で映像を記録します。圧縮フォーマットには MPEG2 HD LONG GOP 50Mbps/I frame only 100Mbps コーデックが採用されています。

T2 では、ブラウズタブから GFPAK を参照し、保存されたこれらのクリップをサムネイルで 一覧表示したり、ビンのクリップと同様に操作したりすることができます。

Codec	Frame Size	Frame Rate	R1 ^{**} /P1/P2	Import (GF)	Import (GF=>Grass Valley HQ AVI)
MPEG2	1920 x 1080	59.94i	1 in 1 out	0	0
		50i	1 in 1 out	0	0
	1280 x 720	59.94p	1 in 1 out	0	0
		50p	1 in 1 out	0	0
D10	720 x 576	50i	1 in 2 out	0	0
	720 x 486	59.94i	1 in 2 out	0	0
DV25	720 x 576	50i	1 in 2 out	0	0
	720 x 480	59.94i	1 in 2 out	0	0
DVCPRO25	720 x 576	50i	1 in 2 out	0	0
	720 x 480	59.94i	1 in 2 out	0	0
DVCPRO50	720 x 576	50i	1 in 2 out	0	0
	720 x 480	59.94i	1 in 2 out	0	0

対応フォーマット

※ Grass Valley HQ 形式でのフォーマット。

フォーマットごとの直接再生/FTP送受/インポート/エクスポートの可否は、次の表のとおりです。

Bro	wse	FT	ſP	インポート		エクスポート	
リスト表示	直接再生	アップロード	ダウンロード	インポート	インポート後フォーマット	エクスポート	エクスポート後フォーマット
					GF	0	GF
0	\bigcirc	△*	△*	0	Grass Valley HQ AVI	0	Grass Valley HQ AVI または GF(MXF 単体)

※ MXF 単体ファイルとしてなら○

T2 とデバイスの接続

T2とGFPAKの接続

1. T2 と GFPAK を USB ケーブルで接続する



• 新しいリムーバブル機器が接続された旨のメッセージが表示されます。

GFPAK の取り外し

1. ブラウズタブで GF を右クリックし、Disconnect all をクリックする



- 2. Yes をクリックする
- 3. メニューバーの Option をクリックし、Remove Device... をクリックする
- 4. ドライブを選択して、Remove をクリックする
- 5. Yes をクリックし、GFPAK を取り外す

GF を使用したワークフロー

GFPAK 内の素材の再生

GFPAK 内に保存されているファイルをT2にロードし、再生できます。

- **1.** GFPAKをT2に接続する
 - ブラウズタブの GF ノードにドライブ名が追加され、クリップ一覧が表示されます。

注 意: GFPAK を自動的に認識しない場合は、ブラウズタブの … をクリックし、フォルダの参照ダイアログでドライブを選択して OK をクリックしてください。

Folder Transfer			Config. 🗙
Bin Browse	Recycle Bin	Search	
Removable Me XDCAM XDCAM EX P2	dia		
GF			

- 2. クリップを右クリックし、Load to P1 または Load to P2 をクリックする
 - チャンネルの選択後、クリップをP1/P2チャンネルにドラッグ&ドロップする、もしくはクリップをダブルクリックすることでもロードできます。
- 3. ロードしたチャンネルの再生をクリックする

∧ 注 意: In点、Out点の設定はできますが、In-Out点間のみのインポートはできません。

GF 素材のインポート (ネイティブインポート/ Grass Valley HQ AVI に変換してインポート)

GFPAK 内に保存されているファイルを、GF フォーマットのまま、または Grass Valley HQ AVI に変換してから T2 にインポートできます。

- ▲ 注 意: GF素材のネイティブインポートでは、ルートフォルダ直下のすべてのファイルと、BIN フォルダ、PLAYLIST フォルダが T2 にコピーされます。各フォルダ内のファイルについては、インポートで選択したファイルに関連するもののみコピーされます。
- **POINT**:GFフォーマットの素材とそれ以外のフォーマットの素材が混在するプレイリスト でも再生することができます。
- **POINT**: GF フォーマットのままインポートした後、Grass Valley HQ AVI に変換すること もできます。
- **1.** ブラウズタブで、GF クリップを表示する
- 2. インポートするクリップを選択して右クリックし、Import... をクリックする
 - クリップは複数選択できます。
 - インポートダイアログが表示されます。
- 3. Config... をクリックする

Import		X
Delete	Up Down	Config
Name		Format
MYCLIP0001		xml(MXF MPEG2 Video Elementary Stream)
MYCLIP0002		xml(MXF MPEG2 Video Elementary Stream)
Bin:	Bin	View Bin
		Start Cancel

- リストの「Format」に、インポートするファイルのフォーマットが表示されます。変更の必要 がない場合は、Config...で設定を変更する必要はありません。手順5に進んでください。
- **4.** 「File format after import:」のリストからフォーマットを選択し、**OK** をクリック する
 - GF フォーマットのままインポートする場合は GF MXF(OP-Atom)、Grass Valley HQ AVI に変換してからインポートする場合は HQ を選択します。
- **POINT**:単体の MXF ファイルをインポートする場合は、「Transfer」ツリーの **MXF** をク リックし、「File format after import:」のリストからフォーマットを選択します。

5. 取り込み先のビンを選択する



- New Bin... をクリックすると、ビンを新規作成して取り込み先に指定できます。
- インポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Upまたは Down をクリックして インポートする順番を変更できます。
- インポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Delete をクリックすると、イン ポートする候補からクリップを削除できます。
- 6. Start をクリックする
 - インポートが開始されます。転送画面で進捗を確認できます。
 - ▲ 注 意:初期設定では、録画中または再生中は、転送と変換が一時停止状態となります。録画中/再生中も転送と変換を行う設定に変更する場合は、Config.をクリックし、「Transfer」ツリーの Common をクリックします。設定画面内の Pause file transfers while recording or playing out. のチェックを外すと、録画中/再生中も転送と変換が可能になります。ただし、チェックを外すと録画/再生動作が正常に行われない場合がありますので、チェックを入れた状態でのご使用を推奨します。

ビンに登録した GF 素材を Grass Valley HQ AVI に変換

ビンに登録されている GF フォーマットのクリップを、Grass Valley HQ AVI クリップに変換 できます。

- **POINT**: GF フォーマットの素材とそれ以外のフォーマットの素材が混在するプレイリスト でも T2 で再生することができます。
- 1. ビンタブでクリップを表示する
- 変換するクリップを選択して右クリックし、Convert→Convert to AVI(Grass Valley HQ) をクリックする
 - クリップは複数選択できます。

- 3. Yes をクリックする
 - 変換が開始されます。転送画面で進捗を確認できます。
 - •変換されたクリップは、もとのクリップと同じビンへ新たに保存されます。
 - ▲ 注 意:初期設定では、録画中または再生中は、転送と変換が一時停止状態となります。録画中/再生中も転送と変換を行う設定に変更する場合は、Config.をクリックし、「Transfer」ツリーの Common をクリックします。設定画面内の Pause file transfers while recording or playing out.のチェックを外すと、録画中/再生中も転送と変換が可能になります。ただし、チェックを外すと録画/再生動作が正常に行われない場合がありますので、チェックを入れた状態でのご使用を推奨します。

FTP で GF 素材を T2 に送受信

FTP を利用して、他のデバイスや編集端末などから T2 に接続し、素材のアップロード/ダウンロードができます。FTP で GF 素材を T2 に送受信する手順は、XDCAM 素材を T2 に送受信する手順と同様です。詳しくは、「FTP で XDCAM 素材を T2 に送受信」(→ P.23) を参照してください。

- ▲ 注 意: FTP で T2 から GF 素材をアップロード/ダウンロードする際、GF フォーマットの MXF 単体ファイルのみアップロード/ダウンロードできます。
- ▲ 注 意: FTP で T2 に GF 素材をアップロードする際、MXF インポート設定でイン ポート後のファイルの種類が「AVI (HQ)」に設定されていると、アップロー ド後、Grass Valley HQ AVI に変換されます。
- ▲ 注 意:ファイル名に日本語を使用する場合は、あらかじめFTPクライアント側でファ イル名の文字セットを UTF-8 に設定してください。文字セットが異なると、 正しいファイル名を表示できません。設定方法はお使いのソフトウェアによっ て異なりますので、ヘルプなどを参照してください。

GF フォーマットでファイル出力

GFフォーマットのままインポートしたクリップをGFフォーマットでエクスポートできます。 エクスポート時の注意事項については、「T2 エクスポートに関する注意事項」(→ P.116)を参 照してください。

- ▲ 注 意: GF素材のネイティブインポートでは、ルートフォルダ直下のすべてのファイルと、BINフォルダ、PLAYLISTフォルダがT2にコピーされます。各フォルダ内のファイルについては、インポートで選択したファイルに関連するもののみコピーされます。ネイティブインポートされたクリップを変換せずそのまま出力した場合、インポート時にT2にコピーされなかったファイルやフォルダを使用する機器で、出力したクリップを正しく扱えない場合があります。
- 1. ビンタブでクリップを表示する

- 出力する GF フォーマットのクリップを選択して右クリックし、Export→Export Media Files... をクリックする
 - クリップは複数選択できます。
 - エクスポートの補足事項についてのメッセージが表示されます。内容を確認し、OK をクリックします。
 - エクスポートダイアログが表示されます。

3. Browse... をクリックし、出力先を設定する

Export		×
Delete	Down	Config
Name	Format	
MYCLIP0001	xml(MX	F MPEG2 Video Elementary Stream)
Export path:		
	Browse	
		Start Cancel

- エクスポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Up または Down をクリックしてエクスポートする順番を変更できます。
- エクスポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Delete をクリックすると、エクスポートする候補からクリップを削除できます。

4. Start *を*クリックする

- エクスポートが開始されます。転送画面で進捗を確認できます。
- ▲ 注 意:初期設定では、録画中または再生中は、転送と変換が一時停止状態となります。録画中/再生中も転送と変換を行う設定に変更する場合は、Config.をクリックし、「Transfer」ツリーの Common をクリックします。設定画面内の Pause file transfers while recording or playing out. のチェックを外すと、録画中/再生中も転送と変換が可能になります。ただし、チェックを外すと録画/再生動作が正常に行われない場合がありますので、チェックを入れた状態でのご使用を推奨します。

T2 Alpha Option

この章は次のように構成されています。

- •「オプション概要」(→ P.58)
 - •「制限事項」(→ P.59)
- •「対応フォーマット」 (→ P.60)
- [Fill, Key $\geq lt$] (\rightarrow P.60)

オプション概要

透明度情報を持つ動画および静止画(アルファ付きクリップ)を、再生・インポートできま す。また、アルファ付きクリップと通常のクリップが混在するプレイリストを再生できます。 アルファ付きクリップは、ブラウズタブまたはビンタブのクリップ一覧で、アルファ付きで あることを示すアイコンが表示されます。



アルファ付きクリップを P1 チャンネルまたは P2 チャンネルにロードすると、ロードした方 のチャンネルに Fill を、もう一方のチャンネルに Key を出力(Fill/Key 出力モード)します。 このとき、Fill 側のチャンネルは「Fill」、Key 側のチャンネルは「Key」と表示されます。

POINT:フロントパネルモード時は Fill/Key にそれぞれ対応したアイコンが表示されます。



アルファ付きクリップを含むプレイリストを再生すると、Fill/Key 出力モードになり、通常 クリップの再生中は、Key 側は Black 出力になります。

Fill、Key について詳しくは、「Fill、Key とは」 (→ P.60) を参照してください。

▲ 注 意: クリップ再生時、Fill/Key 出力モードと通常モードは自動で切り替わります。 切り替わるとき、出力信号が途切れるため映像が乱れることがありますが、 故障ではありません。

制限事項

- アルファ付きクリップは、ペアリングできません。
- 3D 同期モードがONになっている場合、およびP1/P2チャンネルがロックされている場合はロードできません。
- E to E モードが ON になっている場合、メッセージが表示され、続行すると E to E モードは OFF になります。
- アルファ付きクリップをロードするとき、もう一方のチャンネルに別のクリップが ロードされている場合はアンロードされます。
- アルファ付きクリップの再生操作は、 Fill 側のチャンネルでのみ可能です。
- アルファ付きクリップをロード中にできる操作は次のとおりです。
 - In/Out 点へ移動
 - In/Out 点の設定
 - サブクリップの作成(アルファチャンネル付き静止画クリップのサブクリップ作成 は不可)
 - 最初のフレームに移動、フレーム戻し、停止、再生、フレーム送り、最後のフレームに移動
 - スクラブバー操作
 - プレイリストのイベントに、フェードイン(Key 側に適用)/フェードアウト (Key 側に適用)/アクション(一時停止、ループ)を設定
- アルファ付きクリップをロード中にできない操作は次のとおりです。
 - 早送り、巻き戻し
 - VAR 操作
 - プレイリストのクリップのトリムモードへの切り替え
- 透明度情報を持つファイルは、Grass Valley HQ AVI に変換してインポートされます。
 このとき、ビットレートは低くなるように (Q値=12) 変換されます。
- AMP コマンドでリモートコントロールでも、同様にアルファ付きクリップを再生できます。
- アルファチャンネル付き静止画と、アルファチャンネル無しの静止画が混在するシーケンスファイルはインポートできません。
- Fill/Key 出力モード時、Fill 側のチャンネルをロックすると、Key 側のチャンネルも連動 してロックされます。

対応フォーマット

動画:

- AVI 形式 (Grass Valley HQ / 非圧縮)
- QuickTime 形式 (ProRes4444 / Animation / 非圧縮)

静止画:

• TARGA

Fill、Key とは

Fill は透明度情報をのせる元画像、Key は透明度情報となる画像です。Key は Fill に対してマスクのような役割になります。



透明度情報を持つ静止画では、RGBカラーで表現される色情報のデータ領域以外に、アルファ チャンネルと呼ばれる透明度情報のデータ領域があります。T2では色情報を Fill、アルファ チャンネルを Key として出力します。

SP3/SP4 の追加・変更機能

この章は次のように構成されています。

- 「MXF 入出力機能について」 (→ P.63)
 - •「対応フォーマット」 (→ P.63)
 - 「Grass Valley HQ MXF 素材のインポート(ネイティブインポート/ Grass Valley HQ AVI に 変換してインポート)」(→ P.64)
 - 「ビンに登録した Grass Valley HQ MXF 素材を Grass Valley HQ AVI に変換」 (→ P.66)
 - 「FTP で Grass Valley HQ MXF 素材を T2 に送受信」(→ P.67)
 - •「Grass Valley HQ MXF フォーマットでファイル出力」(→ P.67)
 - 「EDIUS 6 から Grass Valley HQ MXF ファイルを出力」 (→ P.68)
 - 「Grass Valley HQ AVI を MXF (XDCAM 形式) に変換してファイル出力」 (→ P.71)
 - •「他の編集ソフトウェアに T2素材を読み込み、編集」(→ P.73)
- 「AVCHD 入出力機能について」 (→ P.74)
 - •「対応フォーマット」 (→ P.74)
 - •「リムーバブルメディア内の AVCHD 素材の表示」(→ P.75)
 - 「AVCHD 素材のインポート(ネイティブインポート/ Grass Valley HQ AVI に変換してイン ポート)」(→ P.76)
 - 「ビンに登録した AVCHD 素材を Grass Valley HQ AVI に変換」(→ P.78)
 - •「FTP で AVCHD 素材を T2 に送受信」(→ P.78)
 - •「AVCHDフォーマットでファイル出力」(→P.78)
- 「次回起動時の各種状態の保持」(→ P.80)
- 「バッチキャプチャ」 (→ P.82)
 - •「バッチキャプチャの動作設定」(→ P.82)
 - •「バッチキャプチャリストの読み込みとバッチキャプチャの実行」(→ P.83)
- 「In/Out 点設定時の動作について」(→ P.86)
- 「プレイリストビューの追加・変更機能」(→ P.87)
 - •「イベントの表示の切り替え」(→ P.87)
 - •「イベントの背景色について」(→ P.89)
 - •「イベントの表示・背景色の設定変更」(→ P.90)
 - •「イベントの複数選択・並べ替えについて」(→ P.90)
- •「プレイリスト内のイベントに特定のタイムコードを設定」(→ P.91)
- 「イベントテンプレートの設定」(→ P.92)

October 17, 2011

- 「プレイリストを1つのクリップに変換」(→ P.94)
 - •「ビンに登録したプレイリストを1つのクリップに変換」(→ P.95)
 - •「プレイリストを1つのメディアファイルに変換して出力」(→ P.95)
- 「プレイリスト・クリップのインポート/エクスポート」(→ P.97)
 - •「プレイリスト・クリップを T2 フォーマットでエクスポート」 (→ P.98)
 - •「プレイリスト・クリップをインポート」(→ P.98)
- 「他の T2 ヘメディアファイルを転送」 (→ P.99)
 - •「T2(転送先)のFTPサーバー設定」(→ P.99)
 - 「T2 から T2 ヘメディアファイルをエクスポート」 (→ P.100)
- 「他の T2 へ全データをバックアップ (フルバックアップ同期)」(→ P.102)
 - •「同期先のT2(スレーブ側)をスレーブモードに設定」(→ P.102)
 - 「同期元のT2(マスター側)をマスターモードに設定し、データを同期」(→ P.103)
- 「リモートモード中のローカル操作」(→ P.105)
 - 「R1-Remote モード中のローカル操作」(→ P.105)
 - 「P1-Remote モード/ P2-Remote モード中のローカル操作」(→ P.106)
- 「その他の追加・変更機能」(→ P.107)
 - 「録画中のファイルを自動的にエクスポート」 (→ P.107)
 - 「時差送出可能な素材を P1/P2 チャンネルに自動的にロード」 (→ P.107)
 - 「R1 で作成したサブクリップをプレイリストに自動的に追加」(→ P.108)
 - •「プレビュー更新間隔の設定について」(→ P.109)
 - •「1 倍速以外で再生時のアンシラリデータの出力」(→ P.111)
 - $\lceil + \ddot{\pi} \ddot{F} \ge h$ \neg \neg \neg P.111)
 - •「Wake On LAN 機能で T2 を起動」 (→ P.111)
 - •「GPI からのタリー出力」 (→ P.113)

MXF 入出力機能について

対応フォーマット

フォーマットごとの直接再生/FTP送受/インポート/エクスポートの可否は、次の表のとおりです。

• MXF 単体ファイル (XDCAM 形式)

Bro	wse	FT	ſP		インポート	エクスポート	
リスト表示	直接再生	アップロード	ダウンロード	インポート	インポート後フォーマット	エクスポート	エクスポート後フォーマット
					XDCAM (MXF 単体)	0	XDCAM(MXF 単体)
\bigcirc	0	0	\bigcirc	0	Grass Valley HQ AVI	0	Grass Valley HQ AVI または XDCAM(MXF 単体)

• MXF 単体ファイル (EDIUS 出力形式、 P2 ビデオ形式)

Bro	wse	F1	FTP インポート エクスポート		インポート		エクスポート
リスト表示	直接再生	アップロード	ダウンロード	インポート	インポート後フォーマット	エクスポート	エクスポート後フォーマット
0	0	0	0		MXF 単体ファイル (EDIUS 出力形式、 P2 ビデオ形式)	0	MXF 単体ファイル (EDIUS 出力形式、 P2 ビデオ形式)
U					Grass Valley HQ AVI	0	Grass Valley HQ AVI または XDCAM(MXF 単体)

備考:EDIUS 出力形式の対応コーデックは以下のとおり

- AVC-Intra MXF

- D10 MXF

- DV MXF

- DVCPRO25 MXF

- DVCPRO50 MXF

- DVCPROHD MXF

- MPEG2 MXF

• MXF 単体ファイル (P2 オーディオ形式および認識できない形式)

Browse FTP		インポート		エクスポート			
リスト表示	直接再生	アップロード	ダウンロード	インポート	インポート後フォーマット	エクスポート	エクスポート後フォーマット
〇 (Broken 形式)	不可	不可		不可	_	—	

備考: MXF 単体ファイル (P2 オーディオ形式) は、インポート不可

• MXF 単体ファイル (GF 形式)

Bro	wse	FT	ſP		インポート	エクスポート	
リスト表示	直接再生	アップロード	ダウンロード	インポート	インポート後フォーマット	エクスポート	エクスポート後フォーマット
					GF (MXF 単体)	0	GF(MXF 単体)
0	0	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	Grass Valley HQ AVI	0	Grass Valley HQ AVI または GF(MXF 単体)

• MXF 単体ファイル (Grass Valley HQ MXF 形式)

Bro	wse	F1	ſP		インポート	エクスポート	
リスト表示	直接再生	アップロード	ダウンロード	インポート	インポート後フォーマット	エクスポート	エクスポート後フォーマット
					Grass Valley HQ MXF	0	Grass Valley HQ MXF
\bigcirc	0	0	0	0	Grass Valley HQ AVI	0	Grass Valley HQ AVI または XDCAM(MXF 単体)

Grass Valley HQ MXF 素材のインポート (ネイティブインポート/ Grass Valley HQ AVI に変換してインポート)

リムーバブルメディア内に保存されている Grass Valley HQ MXF フォーマットのファイル を、Grass Valley HQ MXF フォーマットのまま、または Grass Valley HQ AVI に変換してか ら T2 にインポートできます。

- **POINT**: Grass Valley HQ MXF フォーマットの素材とそれ以外のフォーマットの素材が混 在するプレイリストでも再生することができます。
- **POINT**: Grass Valley HQ MXF フォーマットのままインポートした後、Grass Valley HQ AVI に変換することもできます。
- 1. ブラウズタブで、Grass Valley HQ MXF フォーマットのクリップを表示する
- 2. インポートするクリップを選択して右クリックし、Import... をクリックする
 - クリップは複数選択できます。
 - インポートダイアログが表示されます。
- 3. Config... をクリックする

Import			×
Delete	Up Down		Config
Name		Format	
clip01		mxf(Grass Valley HQ)	
clip02 clip03		mxf(Grass Valley HQ) mxf(Grass Valley HQ)	
Bin:	Bin	 New Bin Start 	Cancel

• リストの「Format」に、インポートするファイルのフォーマットが表示されます。変更の必要 がない場合は、**Config...** で設定を変更する必要はありません。手順6に進んでください。

4. 「Transfer」ツリーの **MXF** をクリックする



- 5. 「File format after import:」のリストからフォーマットを選択し、OK をクリック する
 - Grass Valley HQ MXF フォーマットのままインポートする場合は MXF、Grass Valley HQ AVI に変換してからインポートする場合は AVI(HQ) を選択します。
- 6. 取り込み先のビンを選択する

Import		×
Delete	Down	Config
Name	Form	at
clip01	mxf(Grass Valley HQ)
clip02	mxf(Grass Valley HQ)
clip03	mxf(Grass Valley HQ)
	6	
Dire	B 1-	Navy Dia
Bin:	BIN	
		Start Cancel

- New Bin... をクリックすると、ビンを新規作成して取り込み先に指定できます。
- インポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Up または Down をクリックして インポートする順番を変更できます。
- インポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Delete をクリックすると、イン ポートする候補からクリップを削除できます。

- 7. Start をクリックする
 - インポートが開始されます。転送画面で進捗を確認できます。
 - ▲ 注 意:初期設定では、録画中または再生中は、転送と変換が一時停止状態となります。録画中/再生中も転送と変換を行う設定に変更する場合は、Config.をクリックし、「Transfer」ツリーの Common をクリックします。設定画面内の Pause file transfers while recording or playing out. のチェックを外すと、録画中/再生中も転送と変換が可能になります。ただし、チェックを外すと録画/再生動作が正常に行われない場合がありますので、チェックを入れた状態でのご使用を推奨します。

ビンに登録した Grass Valley HQ MXF 素材を Grass Valley HQ AVI に変換

ビンに登録されている Grass Valley HQ MXF フォーマットのクリップを、Grass Valley HQ AVI クリップに変換できます。

- **POINT**: Grass Valley HQ MXF フォーマットの素材とそれ以外のフォーマットの素材が混 在するプレイリストでも T2 で再生することができます。
- 1. ビンタブでクリップを表示する
- 変換するクリップを選択して右クリックし、Convert→Convert to AVI(Grass Valley HQ) をクリックする
 - クリップは複数選択できます。
- 3. Yes をクリックする
 - 変換が開始されます。転送画面で進捗を確認できます。
 - 変換されたクリップは、もとのクリップと同じビンへ新たに保存されます。
 - ▲ 注 意:初期設定では、録画中または再生中は、転送と変換が一時停止状態となります。録画中/再生中も転送と変換を行う設定に変更する場合は、Config.をクリックし、「Transfer」ツリーの Common をクリックします。設定画面内の Pause file transfers while recording or playing out. のチェックを外すと、録画中/再生中も転送と変換が可能になります。ただし、チェックを外すと録画/再生動作が正常に行われない場合がありますので、チェックを入れた状態でのご使用を推奨します。

FTP で Grass Valley HQ MXF 素材を T2 に送受信

FTP を利用して、他のデバイスや編集端末などから T2 に接続し、素材のアップロード/ダウンロードができます。FTP で Grass Valley HQ MXF フォーマットの素材を T2 に送受信する手順は、XDCAM 素材を T2 に送受信する手順と同様です。詳しくは、「FTP で XDCAM 素材を T2 に送受信」(→ P.23) を参照してください。

- ▲ 注 意: FTPでT2にGrass Valley HQ MXF形式の素材をアップロードする際、MXF インポート設定でインポート後のファイルの種類が「AVI (HQ)」に設定されていると、アップロード後、Grass Valley HQ AVI に変換されます。
- ▲ 注 意:ファイル名に日本語を使用する場合は、あらかじめFTPクライアント側でファ イル名の文字セットを UTF-8 に設定してください。文字セットが異なると、 正しいファイル名を表示できません。設定方法はお使いのソフトウェアによっ て異なりますので、ヘルプなどを参照してください。

Grass Valley HQ MXF フォーマットでファイル出力

Grass Valley HQ MXF フォーマットのままインポートしたクリップを Grass Valley HQ MXF フォーマットでエクスポートできます。

エクスポート時の注意事項については、「T2 エクスポートに関する注意事項」(→ P.116) を参 照してください。

- 1. ビンタブでクリップを表示する
- 2. 出力する Grass Valley HQ MXF フォーマットのクリップを選択して右クリックし、 Export→Export Media Files... をクリックする
 - クリップは複数選択できます。
 - エクスポートの補足事項についてのメッセージが表示されます。内容を確認し、OK をクリックします。
 - エクスポートダイアログが表示されます。

3. Browse... をクリックし、出力先を設定する



- エクスポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Upまたは Down をクリックしてエクスポートする順番を変更できます。
- エクスポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Delete をクリックすると、エクスポートする候補からクリップを削除できます。
- **4. Start** *を*クリックする
 - エクスポートが開始されます。転送画面で進捗を確認できます。
 - ▲ 注 意:初期設定では、録画中または再生中は、転送と変換が一時停止状態となります。録画中/再生中も転送と変換を行う設定に変更する場合は、Config.をクリックし、「Transfer」ツリーの Common をクリックします。設定画面内の Pause file transfers while recording or playing out. のチェックを外すと、録画中/再生中も転送と変換が可能になります。ただし、チェックを外すと録画/再生動作が正常に行われない場合がありますので、チェックを入れた状態でのご使用を推奨します。

EDIUS 6 から Grass Valley HQ MXF ファイルを出力

EDIUS 6 ターンキーシステムで作成したプロジェクトを、FTP 経由で T2 に出力できます。 あらかじめ EDIUS 6 と T2 の両方で、FTP サーバーの設定が必要です。T2 の FTP 設定につ いては、「FTP で XDCAM 素材を T2 に送受信」(\rightarrow P.23) を参照してください。 EDIUS 6 では、システム設定の「インポーター/エクスポーター」ツリーを開き、「MXF」の FTP サーバーで設定します。詳しくは EDIUS 6 リファレンスマニュアルを参照してください。

システム設定		×
■・アプリケーション	FTPサーバー	
□ ハードワェア □ インボーター/エクスポーター	サーバーリスト(S)	
AVCHD Audio CD/DVD	T2 這加(A	4)
…静止画 …GF	The Billion of States and States	D)
GXF Infinity	変更()	4)
K2 MPEG		_
⊟ MXF		U)
デコーダー		N)
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
THE XDCAM		
	設定内容	
	דיע	
	术一下番号	
	ディレクトリ	
	ユーザー名 	
		用(A)

▲ 注 意: EDIUS 6 から MXF フォーマットでプロジェクトを出力するには、EDIUS 6 ターンキーワークステーション用の BC Export Option が必要です。

1. レコーダーのエクスポートをクリックし、ファイルへ出力をクリックする



2. ファイルへ出力ダイアログのカテゴリーツリーで、MXF をクリックする

- 3. エクスポーターから「HQ MXF」を選択し、出力をクリックする
 - プロジェクト設定が出力フォーマットと異なる場合、「HQ MXF」は表示されません。変換処
 理を有効にするにチェックを入れてエクスポーターを選択してください。

ファイルへ出力			×
- DV - DVCPRO HD - DVCPRO HD - DVCPRO 50 - 非臣縮 - GF H 264/AVC - HDV - Infinity K2 - MEDIAEDGE/HDMA-4000 - MPEG - MXF - P2 - Quick Time - Windows Media - XDCAM - オーディオ - その他	エクスポーター エクスポーター エクスポーター AVCIntra MXF HOX MXF JPEG2000 MXF MPEG2 MXF HO MXF	説明 AVCIntra MXF ファイルエクスポーターブラヴイン HOX MXF ファイルエクスポーターブラヴイン JPEG2000 MXF ファイルエクスポーターブラヴイン MPEG2 MXF ファイルエクスポーターブラヴイン HG MXF ファイルエクスポーターブラヴイン	
 □ In/Out点間のみ出力する(B) □ 変換処理を有効にする(E)		検索(S)	
▶ 非細設定 既定値として保存(D) 目	X 🔹 🖻	バッチリストに追し出力 キャンセル	

4. クリップ名を入力し、出力先で FTP を選択する

HQ MXF							х
クリップ名(C) 出力先						参昭	
 ● FTP(T) 	名前 「12	アドレス	x1041	ディレクトリ /Bin	' サ	·名	
	□ 一時ファイルに出;	力した後、F	TPにアップロ	ードする。			
-HQ CODECの部 ○ オンライン(部 ○ オンライン(部 ○ オンライン(部 ○ オンライン(部 ○ オフライン	設定 最高画質) 高画質) 栗準)	Q 上限(M)	4 。 最小	•	19 最大	5	
() א¢גל			(ОК		キャンセル	

5. 設定を行い、OK をクリックする

•レンダリングが開始されます。T2の転送画面で進捗を確認できます。

Grass Valley HQ AVI を MXF(XDCAM 形式)に変換してファイル 出力

Grass Valley HQ AVI ファイルを、次のフォーマットに変換してエクスポートできます。

- MXF 形式 (XDCAM HD422) (1920 x 1080 59.94i/50i/29.97p/25p 50 Mbps)
- MXF 形式 (XDCAM HD) (1440 x 1080 59.94i/50i/29.97p/25p/23.98p 25 Mbps)
- MXF 形式 (XDCAM IMX) (720 x 486 59.94i、 720 x 576 50i)
- MXF 形式 (XDCAM DV) (720 x 486 59.94i、 720 x 576 50i)

エクスポート時の注意事項については、「T2 エクスポートに関する注意事項」(→ P.116) を参 照してください。

- 1. 出力するクリップを選択して右クリックし、Export→Export Media Files... をク リックする
 - クリップは複数選択できます。
 - エクスポートの補足事項についてのメッセージが表示されます。内容を確認し、OK をクリックします。
 - エクスポートダイアログが表示されます。

2. Config... をクリックする

Export	×
Delete Up Down	Config
Name	Format
Clip_09	avi(Grass Valley HQ)
Clip_10	avi(Grass Valley HQ)
Clip_11	avi(Grass Valley HQ)
Export path:	
	Browse
	Start Caricei

リストの「Format」に、エクスポートするファイルのフォーマットが表示されます。変更の必要がない場合は、Config...で設定を変更する必要はありません。手順6に進んでください。

Chapter 6 SP3/SP4 の追加・変更機能

3. 「Transfer」ツリーの AVI をクリックする



∧ 注 意: In/Out 点が設定された AVI 形式のクリップは In-Out 点間のみ変換されます。

- 4. Execute transcoding when exporting AVI file. にチェックを入れる
 ・チェックを外すと、フォーマットを変換せずに出力します。
- 5. AVI トランスコード詳細設定を行い、OK をクリックする
- 6. Browse... をクリックし、出力先を設定する

Export	×
Delete Up Down	Config
Name	Format
Clip_09	avi(Grass Valley HQ) -> MXF(XDCAM HD422)
Clip_10	avi(Grass Valley HQ) -> MXF(XDCAM HD422)
Clp_11	avi(Grass Valley HQ) -> MXF(XDCAM HD422)
	1.1
<	
Export path:	
	Browse
	Start Cancel

- エクスポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Up または Down をクリックしてエクスポートする順番を変更できます。
- エクスポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Delete をクリックすると、エクスポートする候補からクリップを削除できます。
- 7. Start をクリックする
 - 変換とエクスポートが開始されます。転送画面で進捗を確認できます。
他の編集ソフトウェアに T2 素材を読み込み、編集

Adobe Premiere Pro、Apple Final Cut Pro に T2 素材を読み込み、編集できます。ビン内の クリップを XDCAM フォーマットに変換し、クライアントから FTP で変換したクリップを ダウンロードします。

FTPの設定については、「FTPで XDCAM 素材を T2 に送受信」(→ P.23)を参照してください。

▲ 注 意:ファイル名に日本語を使用する場合は、あらかじめ FTP クライアント側で ファイル名の文字セットを UTF-8 に設定してください。文字セットが異なる と、正しいファイル名を表示できません。設定方法はお使いのソフトウェア によって異なりますので、ヘルプなどを参照してください。

例:AVI ファイルを変換

- 1. 変換するクリップを選択して右クリックし、Convert→Convert to MXF (XDCAM) をクリックする
 - クリップは複数選択できます。
- 2. Yes をクリックする
 - 変換が開始されます。転送画面で進捗を確認できます。
 - 変換されたクリップは、もとのクリップと同じビンへ新たに保存されます。
- 3. 変換したクリップを、クライアント PC から FTP でダウンロードする
- 4. クライアント PC の編集ソフトウェアで T2 素材を読み込む

AVCHD 入出力機能について

対応フォーマット

Codec	Туре	Frame Size	Frame Rate	R1 * /P1/P2	Import (AVCHD)	Import (AVCHD=>Grass Valley HQ AVI)
H.264/AVC	AVCHD	1920 x 1080	59.94i	0 in 1 out	0	0
			50i	0 in 1 out	0	0
			23.98p	0 in 1 out	0	0
		1440 x 1080	59.94i	0 in 1 out	0	0
			50i	0 in 1 out	0	0
			23.98p	0 in 1 out	0	0
		1280 x 720	59.94p	0 in 1 out	0	0
			50p	0 in 1 out	0	0
			23.98p	0 in 1 out	0	0
		720 x 480	59.94i	0 in 1 out	0	0
		720 x 576	50i	0 in 1 out	0	0
	AVCHD-PRO	1920 x 1080	30p (over 60i)	_	×	0
	(PH-mode))	25p (over 50i)	—	×	0
		1280 x 720	30p (over 60p)	_	×	0
			25p (over 50p)		×	0
	NXCAM	1920 x 1080	60i	0 in 1 out	0	0
			24p	0 in 1 out	0	0
			30p	—	×	0
			50i	0 in 1 out	0	0
			25p	—	×	0
		1280 x 720	60p	0 in 1 out	0	0
			50p	0 in 1 out	0	0
		1440 x 1080	60i	0 in 1 out	0	0
			50i	0 in 1 out	0	0

※ Grass Valley HQ 形式でのフォーマット。

フォーマットごとの直接再生/FTP送受/インポート/エクスポートの可否は、次の表のとおりです。

• AVCHD 単体ファイル (*.mts、 *.m2ts)

Browse		FTP			インポート		エクスポート	
リスト表示	直接再生	アップロード	ダウンロード	インポート	インポート後フォーマット	エクスポート	エクスポート後フォーマット	
					AVCHD	0	AVCHD	
0	不可*	\bigcirc	0	\bigcirc	Grass Valley HQ AVI	0	Grass Valley HQ AVI または XDCAM(MXF 単体)	

※インポート後は、AVCHDフォーマットで直接再生可。

- ▲ 注 意: AVCHD フォーマットの クリップは 10ut のみ可能です。R1 チャンネルで録 画中、P1/P2 チャンネルで再生または別のクリップをロード中などに AVCHD 形式の クリップを再生するには、録画・再生を停止またはクリッ プをアンロードする必要があります。
- / 注 意: AVCHD フォーマットの クリップを1倍速以外の再生速度で再生する場合、 スムーズに再生されない場合があります。1倍速以外の再生速度でもスムーズに再生したい場合は、Grass Valley HQ AVI に変換してインポートすることを推奨します。
- 注 意: AVCHD フォーマットの クリップの再生中は、非常に負荷がかかります。 R1 のプレビュー更新を行わない設定にしたり、ファイル転送を停止したり など負荷を軽減することを推奨します。

リムーバブルメディア内の AVCHD 素材の表示

リムーバブルメディア内に保存されている AVCHD フォーマットのファイルを T2 で確認できます。

- 1. リムーバブルメディアを T2 に接続する
- 2. ブラウズタブで Removable Media の ... をクリックする



- 3. フォルダの参照ダイアログでリムーバブルメディア内のフォルダを選択し、OKを クリックする
 - BDMV フォルダまたはSTREAM フォルダを選びます。
 - ブラウズタブの Removable Media ノードにフォルダ名が追加され、クリップ一覧が表示されます。

AVCHD 素材のインポート (ネイティブインポート/ Grass Valley HQ AVI に変換してインポート)

リムーバブルメディア内に保存されている AVCHD フォーマットのファイルを、AVCHD フォーマットのまま、または Grass Valley HQ AVI に変換してから T2 にインポートできます。

▲ 注 意: AVCHD フォーマットの 480p、720p (25p/29.97p/30p)、1080p (25p/29.97p/ 30p/50p/59.94p/60p) は、Grass Valley HQ AVI に変換してインポートされ ます。ネイティブフォーマットのままインポートすることはできません。

- **POINT**: AVCHD フォーマットの素材とそれ以外のフォーマットの素材が混在するプレイ リストでも再生することができます。
- **POINT**: AVCHD フォーマットのままインポートした後、Grass Valley HQ AVI に変換す ることもできます。
- 1. ブラウズタブで、AVCHD フォーマットのクリップを表示する
- インポートするクリップを選択して右クリックし、Import... をクリックする
 ・クリップは複数選択できます。
 - インポートダイアログが表示されます。
- 3. Config... をクリックする

Import		×
Delete	Up Down	Config
Name		Format
Clip01(3)		m2ts(H.264/AVC) -> avi(Grass Valley HQ)
Clip03(2)		m2ts(H.264/AVC) -> avi(Grass Valley HQ)
Bin:	Bin	New Bin
		Start Cancel
		Calice

リストの「Format」に、インポートするファイルのフォーマットが表示されます。変更の必要がない場合は、Config... で設定を変更する必要はありません。手順6に進んでください。

AVCHD 入出力機能について

4. 「Transfer」ツリーの AVCHD をクリックする



- **5.** 「File format after import:」のリストからフォーマットを選択し、**OK** をクリック する
 - AVCHD フォーマットのままインポートする場合は AVCHD、Grass Valley HQ AVI に変換してからインポートする場合は HQ を選択します。
- 6. 取り込み先のビンを選択する

Import		×
Delete	p Down	Config
Name	F	ormat
Clip01(3)	n	n2ts(H.264/AVC) -> avi(Grass Valley HQ)
Clip03(2)	п	n2ts(H.264/AVC) -> avi(Grass Valley HQ)
Bin:		New Bin Start Cancel

- New Bin... をクリックすると、ビンを新規作成して取り込み先に指定できます。
- インポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Up または Down をクリックして インポートする順番を変更できます。
- インポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Delete をクリックすると、イン ポートする候補からクリップを削除できます。

- 7. Start をクリックする
 - インポートが開始されます。転送画面で進捗を確認できます。
 - ▲ 注 意:初期設定では、録画中または再生中は、転送と変換が一時停止状態となります。録画中/再生中も転送と変換を行う設定に変更する場合は、Config.をクリックし、「Transfer」ツリーの Common をクリックします。設定画面内の Pause file transfers while recording or playing out.のチェックを外すと、録画中/再生中も転送と変換が可能になります。ただし、チェックを外すと録画/再生動作が正常に行われない場合がありますので、チェックを入れた状態でのご使用を推奨します。

ビンに登録した AVCHD 素材を Grass Valley HQ AVI に変換

ビンに登録されている AVCHD フォーマットのクリップを、Grass Valley HQ AVI クリップ に変換できます。手順は、Grass Valley HQ MXF 形式のクリップを Grass Valley HQ AVI ク リップに変換する手順と同様です。詳しくは、「ビンに登録した Grass Valley HQ MXF 素材 を Grass Valley HQ AVI に変換」(→ P.66) を参照してください。

POINT: AVCHD フォーマットの素材とそれ以外のフォーマットの素材が混在するプレイ リストでも T2 で再生することができます。

FTP で AVCHD 素材を T2 に送受信

FTP を利用して、他のデバイスや編集端末などから T2 に接続し、素材のアップロード/ダ ウンロードができます。FTP で AVCHD フォーマットの素材を T2 に送受信する手順は、 XDCAM 素材を T2 に送受信する手順と同様です。詳しくは、「FTP で XDCAM 素材を T2 に送受信」(→ P.23) を参照してください。

- ▲ 注 意: FTP で T2 に AVCHD フォーマットの素材をアップロードする際、AVCHD インポート設定でインポート後のファイルの種類が「HQ」に設定されている と、アップロード後、Grass Valley HQ AVI に変換されます。
- ▲ 注 意:ファイル名に日本語を使用する場合は、あらかじめFTPクライアント側でファイル名の文字セットを UTF-8 に設定してください。文字セットが異なると、正しいファイル名を表示できません。設定方法はお使いのソフトウェアによって異なりますので、ヘルプなどを参照してください。

AVCHD フォーマットでファイル出力

AVCHD フォーマットのままインポートしたクリップを AVCHD フォーマットでエクスポー トできます。

エクスポート時の注意事項については、「T2 エクスポートに関する注意事項」(→ P.116)を参 照してください。

1. ビンタブでクリップを表示する

78 T2 ユーザーマニュアル - SP3/SP4 -

- 2. 出力する AVCHD フォーマットのクリップを選択して右クリックし、Export→Export Media Files... をクリックする
 - クリップは複数選択できます。
 - エクスポートの補足事項についてのメッセージが表示されます。内容を確認し、OK をクリックします。
 - エクスポートダイアログが表示されます。

3. Browse... をクリックし、出力先を設定する

Export						×
Delete	Up	Down			Config	
Name			Format			1
Clip04			m2ts(H.264/AV	/C)		
Export path:		e				
			Browse			
				Start	Cancel	

- エクスポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Up または Down をクリックしてエクスポートする順番を変更できます。
- エクスポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Delete をクリックすると、エクスポートする候補からクリップを削除できます。

4. Start をクリックする

- エクスポートが開始されます。転送画面で進捗を確認できます。
- ▲ 注 意:初期設定では、録画中または再生中は、転送と変換が一時停止状態となります。録画中/再生中も転送と変換を行う設定に変更する場合は、Config.をクリックし、「Transfer」ツリーの Common をクリックします。設定画面内の Pause file transfers while recording or playing out.のチェックを外すと、録画中/再生中も転送と変換が可能になります。ただし、チェックを外すと録画/再生動作が正常に行われない場合がありますので、チェックを入れた状態でのご使用を推奨します。

次回起動時の各種状態の保持

T2を終了する時点での各種モードや状態を保持し、次回起動時に復元できます。

次のモードは、T2終了時と同じモードで次回起動します。

- ワークステーションモード/フロントパネルモード
- R1-Live モード/ R1-VTR モード/ VTR バッチモード
- リモートモード (R1-Remote モード/ P1-Remote モード/ P2-Remote モード)

次の項目は、T2 終了時の状態を次回起動時も保持するかどうかを設定できます。

- P1/P2 チャンネルにロードされたプレイリスト/クリップの状態
 Config. をクリックし、「General」 ツリーの Miscellaneous をクリックします。
 - Keep the contents mounted on P1/P2 にチェックを入れると、P1/P2 チャンネルにロードされたプレイリスト/クリップの状態を保持します。
 - Keep the playback frame positions on P1/P2 にチェックを入れると、スクラブバーの再生位置を保持します。
 - Automatically playback the mounted contents on P1/P2 にチェック を入れると、次回起動時に、P1/P2 チャンネルにロードされたプレイリスト/ク リップの In-Out 点間を自動的に再生します。

• ブラウズタブに表示された外部ドライブの接続状態

Config. をクリックし、「General」 ツリーの **Miscellaneous** をクリックします。 **Keep the connections on the browse tab** にチェックを入れると、ブラウズタ ブに表示された外部ドライブの接続状態を保持します。 次回起動時、 ブラウズタブに 表示される外部ドライブの内容が最新の状態に更新されます。

Configuration			×
General General Hardware Network-1 Network-2 Network-3 FTP Miscellaneous R R1 Input Settings Timecode & Remote Capture F-P1 Video Monitor & Remote ProcAmp F-P2 Video Monitor & Remote ProcAmp F-P2 Video Generation Common AVCHD AVI MXF XDCAM P2 GF CF	Language : DF mode : Playlist auto scroll : Playlist event template : Playlist View Style : Preview update interval : Statuses at the next startur C Keep the connections on Keep the contents moun Keep the playback fra Automatically playback	English DF ONDF OF Settings Settings Settings yp In the browse tab Inted on P1/P2 ame positions on P1/P2 k the mounted contents on P1/P2	
Deidaith			-

• ネットワークドライブの割り当て状態

Config. をクリックし、「General」 ツリーの **Network-3** をクリックします。 設定画面内で、 **Add...** をクリックします。 ネットワークドライブの割り当ての設定ダイアログで、 **Reconnect on next bootup** にチェックをいれると、 ネットワークドライブの接続状態を保持します。

Map Netwo	rk Drive	×
Drive:	Z: 🔹	
Folder:	\\server\share	Browse
	Example: \\server\share	
	Reconnect on next bootup	
	ОК	Cancel

※フロントパネルモードでは設定できません。

バッチキャプチャ

バッチキャプチャリストをT2に読み込み、素材をまとめて録画できます。

読み込み可能なバッチキャプチャリストのファイル形式は次のとおりです。

- CSV ファイル (Model / Mode2) (*.csv) : EDIUS で作成したバッチキャプチャリスト
- ALE ファイル (*.ale): Avid Log Exchange のバッチキャプチャリストに相当するファイル
- FCL ファイル (*.fcl) : Apple Final Cut Pro のバッチキャプチャリストに相当するファイル

 注 意:本機能は、ワークステーションモードでのみ使用できます。フロントパネル モードでは使用できません。

▲ 注 意:バッチキャプチャリストをT2に読み込んだ後、In 点/Out 点/デュレーションやリールネームの変更、バッチキャプチャ項目の追加はできません。

バッチキャプチャの動作設定

- **1.** Config. e c p u = 0 (R1) y = 0 Capture e p = 0
- 2. 「VTR Capture」でプリロールとマージンを設定する



- •「Preroll:」にプリロール時間を入力します。
- •「Margin:」に録画対象範囲の前後のマージン時間を入力します。

3. 「VTR Batch Capture」でバッチキャプチャの動作について設定する



- •「Clip name:」に、バッチキャプチャ時に生成されるクリップ名の接頭語を入力します。生成さ れるクリップ名は、「クリップ名の接頭語 _ 連番」となります。初期設定では、「Clip_ 連番」と なります。
- When an error occurs, continue to capture the following items. のチェックを 外すと、エラーが発生した場合、録画を停止します。
- **Completed items are not captured.** のチェックを外すと、録画が100% 完了したバッチ キャプチャ項目でも、次回バッチキャプチャ時に録画対象となります。
- **4. OK** をクリックする

バッチキャプチャリストの読み込みとバッチキャプチャの実行

- **POINT**: バッチキャプチャを実行する前に、使用する VTR 機器の入力設定をしておいてく ださい。**Config.** をクリックし、「R1」 ツリーの **Input Settings** をクリックし て表示される画面で設定します。
- **1.** R1-VTR モードに切り替える

Chapter 6 SP3/SP4 の追加・変更機能

2. Batch をクリックする

Live	VTR Rem	note	Batch
Clip:			•
Tag:			
Format 1920x1080 SDI INT) 59.94i		
-VTR Record	Settings		
VTR In:		Length:	00:00:00;00
VTR Out:			Fixed Length On

- VTR バッチモードに切り替わり、バッチキャプチャ画面が表示されます。
- 3. バッチキャプチャリストの読み込みをクリックする



4. バッチキャプチャリストを選択し、OK をクリックする

バッチキャプチャリストが表示されます。



No	名称	機能
(1)	バッチキャプチャリ ストの読み込み	バッチキャプチャリスト(CSV、ALE、FCL ファイル)を読み込み ます。
(2)	削除	バッチキャプチャ項目を削除できます。 項目を選択して右クリックし、 Delete をクリックしても同様の操作 ができます。
(3)	上に移動/下に移動	バッチキャプチャ項目の並べ替えができます。 項目を選択し、 上に移動 または 下に移動 をクリックすると、1つ上ま たは1つ下へ移動します。 項目を選択して右クリックし、 Move Up または Move Down を クリックしても同様の操作ができます。
(4)	Status	録画の進行状況を表示します。エラーが発生した場合は、エラー内 容を表示します。
(5)	No	バッチキャプチャ後に生成されるクリップ名の末尾に相当する連番 を表示します。
(6)	Reel	リールネームを表示します。
(7)	In TC/Out TC/Dur TC	In 点/Out 点/デュレーションのタイムコードを表示します。 録画時に優先するタイムコードに下線が付きます。優先するタイム コードを変更する場合は、項目を選択して右クリックし、Change to "In/Out Capture" または Change to "In/Dur Capture" をクリックします。
(8)	Count:	バッチキャプチャ項目の総数を表示します。
(9)	Duration:	バッチキャプチャリスト内のデュレーションの合計を表示します。

POINT:バッチキャプチャ項目を選択して右クリックし、**Select All** をクリックすると、 すべての項目を選択できます。

- 5. T2 に VTR 機器を接続し、録画をクリックする
 - バッチキャプチャリスト内に、異なるリールネームが設定されたバッチキャプチャ項目がある 場合は、メッセージが表示されます。リールネームに相当するテープを VTR 機器に挿入し、 OK をクリックしてください。(すべてのバッチキャプチャ項目に同じリールネームが設定さ れている場合、またはリールネームが設定されていない場合は、メッセージは表示されずに録 画が開始されます。)
 - 録画が開始され、「Status」に進行状況が表示されます。
 - •バッチキャプチャを途中で停止する場合は、**停止**をクリックします。
 - 録画が完了したクリップは、現在選択中のビンに登録されます。

In/Out 点設定時の動作について

P1/P2 チャンネルにロードしているクリップに、In/Out 点を設定するときの動作が変更され ました。In/Out 点のどちらかをセットすると、もう一方の In/Out 点も自動的にセットされ るので、スムーズに In/Out 点を確定できます。

例えば、In/Out 点が未設定のクリップの場合、任意の位置に In 点をセットしたとき、自動的 に、クリップの末尾に Out 点がセットされます。**Set** をクリックすると In/Out 点が確定さ れます。



また、In/Out 点が設定済みのクリップの場合、任意の位置で Out 点をセットしたとき、自動的に、設定済みの In 点がセットされます。**Set** をクリックすると In/Out 点が更新されます。



プレイリストビューの追加・変更機能

プレイリストビューの追加・変更機能について説明します。

イベントの表示の切り替え

イベントの表示を、アイコン表示にしたり、サムネイルなしの一覧表示にしたりなどして切り替えることができます。

- POINT:プログレスバーの表示/非表示や、イベントのサムネイルに表示されるキーボー ドショートカットのアイコンの表示/非表示について設定を変更できます。詳し くは、「イベントの表示・背景色の設定変更」(→ P.90)を参照してください。
- イベント表示部で右クリックし、View→表示方法(Icons/Tiles/List/Details) を選択する



- •表示方法は次の4種類あります。
- Icons:アイコン表示(サムネイルあり) Tiles:タイル表示(サムネイルあり)



- List:リスト表示(サムネイルあり)



- **Details**:詳細表示(サムネイルなし)

Clip	Playlist	Rer	note	≙
Playlist:	Playlist(1	2)	<u> </u>	
0%	Clip_ Cue Dur	. 02 e: 00:00:00;00 :: 00:00:04;00		
	Clip_ Cue Dur	. 03(3) e: 00:00:04;00 e: 00:00:14;15		
	Clip_ Cue Dur	01 2: 00:00:18;15 2: 00:00:14;20		
	Clip_ Cue Dur	. 03 e: 00:00:33;05 :: 00:00:14;15		

Clip	Playlist	Remot	e	≙
📑 Pla	aylist: Playlist(12)		-	
	Name	In TC	Dur TC	Туј
0%	Clip_02	00:00:00;00	00:00:04;00	Clip
	Clip_03(3)	00:00:04;00	00:00:14;15	Clip
	Clip_01	00:00:18;15	00:00:14;20	Clip
	Clip_03	00:00:33;05	00:00:14;15	Clip
	Clip_03(4)	00:00:47;20	00:00:14;15	Clip
	Clip_03(2)	00:01:02;07	00:00:14;15	Clip
	Clip_03(1)	00:01:16;22	00:00:14;15	Clip
	Clip_02(1)	00:01:31;07	00:00:04;00	Clip
	Grass valley HQ MXF	00:01:35;07	00:00:02;22	Clip
<			_	>

POINT:イベントにキーボードショートカットを割り当てている場合、アイコン表示/タ イル表示/リスト表示のときは、サムネイルにアイコンが表示されます。



- 赤色のアイコンは、選択中のチャンネルのイベントに対して割り当てられたショートカッ トであることを示しています。
- 黒色のアイコンは、指定したチャンネルのイベントに対して割り当てられたショートカッ トであることを示しています。
- **POINT:**アイコン表示/タイル表示/リスト表示で、プログレスバーの表示/非表示や、 キーボードショートカットのアイコンの表示/非表示について設定を変更できま す。詳しくは、「イベントの表示・背景色の設定変更」(→ P.90)を参照してくだ さい。

- POINT:アイコン表示/タイル表示/リスト表示で、サムネイルの表示サイズを変更でき ます。イベント表示部で右クリックし、View...→Thumbnail Size→表示サイ ズ(Large/Middle/Small)を選択します。
- POINT:プレイリストのメニューをクリックしてイベントの表示を切り換えることもできます。
 - 1ch 表示の場合

P1 E to E Loop 1920x1080 59.94	Paste View Clip_02 Clip	×	Icons Tiles List Details Thumbnail Size Customize	•

- 3ch 表示の場合



イベントの背景色について

イベントの背景色でイベントの現在の状態を表示します。初期設定では、背景色の意味は次のとおりです。



- 赤色は、 そのイベントにスクラブバーの再生位置があることを示しています。
- 緑色は、 スクラブバーの再生位置があるイベントの次のイベントであることを示しています。
- 青色は、 そのイベントが選択されていることを示しています。

POINT:イベントの背景色は変更できます。詳しくは、「イベントの表示・背景色の設定変 更」(→ P.90)を参照してください。

イベントの表示・背景色の設定変更

イベントの表示やイベントの背景色について設定を変更できます。

1. イベント表示部で右クリックし、View→Customize... を選択する

プレイリストビュースタイルの設定ダイアログが表示されます。

	Playlist View Style					×
	-Playlist View Style(Workstation	n Only) –				
(1)	Current Event Background (Color :	🗹 R	255 🛟 G	0🛟 в	0 😂	
(2) (3) (4) (5)	Next Event Background (Color :	🗹 R	0🛟 G	255 🛟 B	0 😂	
	Selected Event (Background Color : Show keyboard shortcuts Show progress bar	🗹 R (A-Z, Fur	48 🔶 G Inction, 0-9 Key	99 <mark></mark> B (only)	207	
			ОК	Cance	I Ap	iply

No	名称	機能
(1)	Current Event Background Color:	スクラブバーの再生位置があるイベントであることを示す背景色を 表示するかどうかを切り換えます。 背景色を変更する場合は、チェックを入れた状態でR・G・Bの数値 を指定します。指定した色が右側に表示されます。
(2)	Next Event Background Color:	スクラブバーの再生位置があるイベントの次のイベントであること を示す背景色を表示するかどうかを切り換えます。 背景色を変更する場合は、チェックを入れた状態でR・G・Bの数値 を指定します。指定した色が右側に表示されます。
(3)	Selected Event Background Color:	選択されているイベントであることを示す背景色を表示するかどう かを切り換えます。 背景色を変更する場合は、チェックを入れた状態でR・G・Bの数値 を指定します。指定した色が右側に表示されます。
(4)	Show keyboard shortcuts (A-Z, Function, 0-9 Key only)	イベントに割り当てられたキーボードショートカットのアイコンの 表示/非表示を切り替えます。 ※キーボードの [A] ~ [Z] キー、ファンクションキー、[0] ~ [9] キー を割り当てている場合のみ、アイコン表示は有効です。
(5)	Show progress bar	再生の進行状況を示すプログレスバーの表示/非表示を切り替えます。

2. 設定を行い、OK をクリックする

POINT: Config. をクリックし、「General」 ツリーの **Miscellaneous** をクリックして表示される画面でも設定できます。「Playlist View Style:」の **Settings...** をクリックします。

イベントの複数選択・並べ替えについて

複数のイベントを選択して、コピー/削除/名前の変更/スタートエフェクトの設定/エン ドエフェクトの設定ができます。 通常の PC の操作と同様に、キーボードの [Ctrl] キーや [Shift] キーを使用するか、マウスをド ラッグしてイベントを複数選択し、右クリックのメニューから各種操作を行います。 また、マウスのドラッグ&ドロップ操作で、イベントを並べ替えることができます。複数選 択したイベントを並べ替えることもできます。

プレイリスト内のイベントに特定のタイムコードを設定

プレイリスト内のイベント(クリップイベント/プレイリストイベント)ごとに、特定のタ イムコードを設定できます。lch表示またはトリムモードで、イベントごとに設定したタイム コードを確認できます。

イベントごとに特定のタイムコードを設定する手順を説明します。

- POINT: クリップに特定のタイムコードを設定している場合、プレイリストに追加した時 点のクリップのタイムコード設定を保持できます。プレイリストにクリップを追 加した後、手順3、4の操作をしてください。(プレイリストに追加後、もとのク リップのタイムコード設定を変更しても、プレイリストには反映されません。)
- 1. イベントのプロパティを表示する
- 2. Timecode タブをクリックし、イベントのタイムコード設定をする

Clip_03 Properties (2/7) X
Event Info GPI Timecode Start Effect End Effect
Replace timecode with:
O Source
O Specify start time 00:00:00;00
*To enable these settings, you need change the playlist timecode setting to
Previous Next OK Cancel Apply

- メディアファイルのソースのタイムコードを使用する場合は、Source を選択します。
- 任意のタイムコードを使用する場合は、**Specify start time** を選択し、開始タイムコードを 入力します。
- プレイリストイベントのタイムコード設定で、プレイリストイベントに含まれるイベントのタイムコード設定を保持する場合、According to event setting を選択します。
- **3.** プレイリストのプロパティを表示する

4. Timecode タブをクリックし、According to event setting を選択し、OK をクリックする

Playlist(12) Properties ×
Playlist Info Timecode All Events
Replace timecode with:
O Source
<u> Specify Start time D0:00:00;00 According to event setting </u>
OK Cancel Apply

イベントテンプレートの設定

イベント開始時のエフェクト(スタートエフェクト)やイベント終了時のエフェクト(エン ドエフェクト)の設定を、イベントテンプレートとして設定できます。イベントテンプレー トを設定しておくと、新たにイベントを追加するたびにそのテンプレートの設定が適用され ます。

イベントテンプレートを設定する手順を説明します。

1. Config. $e \neq 0$, [General] = 0 Miscellaneous $e \neq 0$, $\neg 0$ and $\neg 0$ Miscellaneous $e \neq 0$, $\neg 0$ and $\neg 0$

2. 「Playlist event template:」の Settings... をクリックする



- イベントテンプレートの設定ダイアログが表示されます。
- 3. Start Effect タブで、スタートエフェクトを設定する

Event template
Start Effect
🕑 Fade In
Fade in (from black)
Fade Time 30 😴 frames (1 - 300)
OK Cancel Apply

- •フェードインを設定する場合は、Fade in にチェックを入れます。リストから動作を選択します。
 - Fade in (from black):黒場面からのフェードインを設定します。
 - Fade in (from white): 白場面からのフェードインを設定します。
- •「Fade Time」にフェードインの開始から完了までの時間(フレーム数)を入力します。

4. End Effect タブで、エンドエフェクトを設定する

Event template	<
Start Effect End Effect	
☐ Grade Out	
Fade out (to black)	
Fade Time 30 😪 frames (1 - 300)	
Pause (show black)	
Default OK Cancel Apply	

- フェードアウトを設定する場合は、Fade out にチェックを入れます。リストから動作を選択 します。
 - Fade out (to black): 黒場面へのフェードアウトを設定します。
 - Fade out (to white): 白場面へのフェードアウトを設定します。
- •「Fade Time」にフェードアウトの開始から完了までの時間(フレーム数)を入力します。
- アクションを設定する場合は、Action にチェックを入れます。リストから動作を選択します。
 - Pause (show black): 黒場面を表示した状態で一時停止します。
 - Pause (show white): 白場面を表示した状態で一時停止します。
 - Pause (last frame): 最後のフレームを表示した状態で一時停止します。
 - Pause (next event):次のイベントの先頭のフレームを表示した状態で一時停止します。
 - Pause (show EtoE): R1 チャンネルに入力されている映像をアクティブスルーで表示 します。
 - **Loop**:イベントをループ再生します。
- 5. OK をクリックする
 - ・以降、新たにイベントを追加する場合、もとのクリップのスタートエフェクト/エンドエフェクトの設定にかかわらず、イベントテンプレートの設定が適用されます。

プレイリストを1つのクリップに変換

プレイリストを単一のクリップ (メディアファイル) に変換できます。Grass Valley HQ AVI または MXF (XDCAM 形式) のクリップに変換します。

▲ 注 意:プレイリストを単一のクリップに変換した場合、プレイリストに設定された エフェクトは無効となります。

- **POINT**: MXF (XDCAM 形式) のクリップに変換する場合は、**Config.** をクリックし、「Transfer」ツリーの **AVI** をクリックして表示される画面で、フォーマットの詳細を設定しておいてください。
- POINT:フォーマットが混在するプレイリストでも1つのクリップに変換できます。
- **POINT**: プレイリストやイベントのプロパティで設定したタイムコードは、変換後のメ ディアファイルの各フレームに保持されます。
- **POINT**:変換後のクリップのプロファイル(サイズとフレームレート)は、プレイリストのプロファイルと同じです。
- **POINT**:変換時、プレイリスト内のイベントに設定したオーディオゲインが反映されます。 オーディオは PCM 48kHz 24bit 8ch に変換されます。

ビンに登録したプレイリストを1つのクリップに変換

- ビンタブで、変換するプレイリストを選択して右クリックし、Convert → Convert to AVI(Grass Valley HQ) または Convert to MXF(XDCAM) をクリックする
 - プレイリストは複数選択できます。
- 2. Yes をクリックする
 - 変換が開始されます。転送画面で進捗を確認できます。
 - 変換後のクリップは、もとのプレイリストと同じビンへ新たに保存されます。
 - ▲ 注 意:初期設定では、録画中または再生中は、転送と変換が一時停止状態となります。録画中/再生中も転送と変換を行う設定に変更する場合は、Config.をクリックし、「Transfer」ツリーの Common をクリックします。設定画面内の Pause file transfers while recording or playing out.のチェックを外すと、録画中/再生中も転送と変換が可能になります。ただし、チェックを外すと録画/再生動作が正常に行われない場合がありますので、チェックを入れた状態でのご使用を推奨します。

プレイリストを1つのメディアファイルに変換して出力

エクスポート時の注意事項については、「T2 エクスポートに関する注意事項」(→ P.116)を参照してください。

- 1. ビンタブで、出力するプレイリストを選択して右クリックし、Export → Export Media Files... をクリックする
 - プレイリストは複数選択できます。
 - エクスポートの補足事項についてのメッセージが表示されます。内容を確認し、OKをクリックします。
 - エクスポートダイアログが表示されます。

2. Config... をクリックする



- リストの「Format」に、エクスポートするファイルのフォーマットが表示されます。変更の必要がない場合は、**Config...** で設定を変更する必要はありません。手順5に進んでください。
- 3. 「Transfer」 ツリーの Playlist をクリックする

Configuration		×
Hardware Network-1 Network-2 Network-3 FTP Miscellaneous	Playlist Export Settings File format after export : HQ -	
■-R1 Input Settings Timecode & Remote Capture ■-P1 Video		
Monitor & Remote ProcAmp P2 Video Monitor & Remote ProcAmp ProcAmp ProcAmp		
Transter Common AVCHD AVI AVI MXF VDCAM P2		
Default		OK Cancel Apply

4. 「File format after export:」のリストから MXF(XDCAM) または HQ を選択し、 OK をクリックする 5. Browse... をクリックし、出力先を設定する

Export					×
Delete	Up	Down			Config
Name			Format		
Playlist			Playlist -> AVI(Gr	ass Valley HQ)	
Evport nath:					
			Browse		
				Start	Cancel
8				otait	Cancer

- エクスポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Up または Down をクリックしてエクスポートする順番を変更できます。
- エクスポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Delete をクリックすると、エクスポートする候補からクリップを削除できます。
- 6. Start をクリックする
 - 変換とエクスポートが開始されます。転送画面で進捗を確認できます。

プレイリスト・クリップのインポート/エクスポート

T2 フォーマット(TWF ファイル)でプレイリストやクリップをエクスポートすると、プレ イリストやクリップの情報(In/Out 点の情報、エフェクトの情報、イベントリストなど)を 保持したまま、他の T2 にインポートできます。

- **POINT**: TWF ファイルは、ZIP 形式のファイルです。TWF ファイルの拡張子を「*.zip」 に変更して、ZIP 解凍用ソフトウェアで解凍すると、メディアファイルとして取 り出すことができます。
- **POINT**: FTP 経由で T2 から他の T2 へ、直接プレイリスト・クリップを送受信すること もできます。詳しくは、「他の T2 へメディアファイルを転送」(→ P.99) を参照 してください。

プレイリスト・クリップを T2 フォーマットでエクスポート

エクスポート時の注意事項については、「T2 エクスポートに関する注意事項」(→ P.116) を参 照してください。

- 1. ビンタブで、プレイリストまたはクリップを選択して右クリックし、 Export→Export in T2 Format (TWF Files)... をクリックする
 - プレイリスト、クリップは複数選択できます。
 - 他のT2へのエクスポートについてのメッセージが表示されます。内容を確認し、OKをクリックします。
 - エクスポートダイアログが表示されます。

2. Browse... をクリックし、出力先を設定する

Export	×
Delete Up Down	Config
Name	Format
Playlist	twf(T2 Wrapped Format)
Export path:	
	Browse
	Start Cancel
	Start Calica

- 3. Start をクリックする
 - エクスポートが開始されます。転送画面で進捗を確認できます。

プレイリスト・クリップをインポート

TWF ファイルをT2 にインポートする手順は、TWF ファイルの保存場所により異なります。

- TWF ファイルがリムーバブルメディア内にある場合は、 ブラウズタブの Removable Media ノードから通常の手順でインポートできます。
- 他の T2 やデバイスなどから、ご使用の T2 の FTP サーバーに TWF ファイルがアップ ロードされた場合は、 インポートの操作をすることなく、 ビンタブから TWF ファイ ルを使用できます。

他の T2 ヘメディアファイルを転送

FTP 経由で T2 から他の T2 ヘメディアファイルを転送できます。T2 (転送元) から T2 (転送先) の FTP サーバーヘメディアファイルをエクスポートすると、T2 (転送先) では、インポートの操作をすることなく、ビンタブからそのファイルを使用できます。

まず、T2(転送元)で、T2(転送先)のFTP接続設定を行います。

T2 (転送先) の FTP サーバー設定

- 1. Config. をクリックし、「General」 ツリーの FTP をクリックする
- **2.** 「FTP Export List」で **Add...** をクリックする

Configuration	×
General Hardware Network-1 Network-2 Network-2 Network-3 Hiscellaneous Remote Procamp P1 Video Video Video Video ProcAmp P2 Video Common AVCHD AVCHD AVCHD AVCHD AVCHD AVCH P2 GF Playlist V	FTP Server Settings Password : ftppassword Maximum number of clients : 5 Bin(root directory) : Default Start Stop
Default	OK Cancel Apply

- •既存のFTP接続設定を変更する場合は、サーバーを選択し、Change...をクリックします。
- •既存のFTP接続設定を削除する場合は、サーバーを選択し、Deleteをクリックします。
- FTP 接続の設定ダイアログが表示されます。

3. 転送先となる T2の FTP サーバーの設定を行い、OK をクリックする



No	名称	機能
(1)	Setting Name:	サーバーの設定名を入力します。
(2)	Host Name/ IP Address:	FTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
(3)	Port Number:	ポート番号(1~65535)を入力します。
(4)	Directory:	エクスポート先のビンのアドレスを入力します。
(5)	User Name:/ Password:	ユーザー名とパスワードを入力します。
(6)	Connection Test	クリックすると、入力されているユーザー名・パスワードで FTP への 接続をテストします。

T2 から T2 ヘメディアファイルをエクスポート

エクスポート時の注意事項については、「T2 エクスポートに関する注意事項」(→ P.116) を参照してください。

- ビンタブで、プレイリストまたはクリップを選択して右クリックし、 Export→Export Media Files... または Export in T2 Format (TWF Files)... をクリックする
 - プレイリスト、クリップは複数選択できます。
 - プレイリストやクリップを T2 フォーマット(TWF ファイル)でエクスポートする場合は、
 Export in T2 Format(TWF Files)... をクリックします。
 - エクスポートの補足事項に関するメッセージ、または他のT2へのエクスポートについてのメッ セージが表示されます。内容を確認し、**OK**をクリックします。
 - エクスポートダイアログが表示されます。

注 意: P2 クリップなど、複数ファイルで構成されるプレイリストやクリップは、そのままのフォーマットでエクスポートできません。T2 フォーマットでエクスポートしてください。

- **POINT**: Grass Valley HQ AVI を MXF (XDCAM 形式) に変換してエクスポートする場合 は、エクスポートダイアログで、「Grass Valley HQ AVI を MXF (XDCAM 形式) に変換してファイル出力」(→ P.71) の手順 2 ~ 5 を行ってください。
- **POINT**: プレイリストを1つのメディアファイルに変換してエクスポートする場合は、エ クスポートダイアログで、「プレイリストを1つのメディアファイルに変換して出 力」(\rightarrow P.95)の手順2~4を行ってください。
- **2.** Browse... *を*クリックする

Export	×
Delete Up Down	Config
Name	Format
Clip_09	avi(Grass Valley HQ)
Clip_10	avi(Grass Valley HQ)
Clip_11	avi(Grass Valley HQ)
Evport nath:	
	Browso
	Start Cancel

- エクスポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、UpまたはDownをクリックしてエクスポートする順番を変更できます。
- エクスポートダイアログのクリップ一覧でクリップを選択し、Deleteをクリックすると、エクスポートする候補からクリップを削除できます。
- **3.**「FTP Server」のツリーをクリックし、T2(転送先)のFTP サーバーを選択し、 OK をクリックする

Browse For Folder		×
■ ♥ My Computer ■ ♥ F: ■ ♥ FTP Server ↓ ♥ T2_B (/BinA)		
New Folder	ОК	Cancel

- FTP 接続の設定ダイアログで設定した FTP サーバーが表示されます。
- 4. Start をクリックする
 - エクスポートが開始されます。転送画面で進捗を確認できます。

他の T2 へ全データをバックアップ(フルバックアップ同期)

T2のデータ(メディアファイルとデータベース)を、ネットワーク上の他のT2(複数可)へ 同期できます。同期先のT2(スレーブ側)のデータは初期化され、T2(マスター側)のデー タに完全に同期します。

T2(マスター側)のデータをT2(スレーブ側)へ同期する手順を説明します。

▲ 注 意:あらかじめ、マスター側とスレーブ側両方の T2 で、リモートモード (R1-Remote モード/ P1-Remote モード/ P2-Remote モード)をオフにして おく必要があります。(ファイルの転送中はリモートモードの ON/OFF を切 り替えることはできません。)

同期先のT2(スレーブ側)をスレーブモードに設定

1. y = 1 y = -y y = --



- R1/P1/P2チャンネルでキャプチャ中またはクリップをロード中の場合は、アンロードするかどうか を確認するメッセージが表示されます。**OK**をクリックすると、クリップがアンロードされます。
- T2からT2への同期バックアップの設定ダイアログが表示されます。

2. Slave mode を選択し、Close をクリックする

T2 to T2 Sync backup	
You can sync the data between the "Master T2" and the "Slave T2". However, all conter of the "Slave T2" will be erased and replaced the "Master T2" contents. 1) First put the "Slave T2" into "Slave mode". (You can have multiple Slave T2) 2) Next, put the "Master T2" into "Master Mode" and select the Slave T2(s) you want to synchronize to. 3) Select "Start Sync" from the Master T2.	its
Operating mode	
O Not set	
O Master mode Slave configuration	
O Slave mode	
Progress	
00:00:00	
Start Sync Stop Close	

- 同期先のT2(スレーブ側)がスレーブモードに設定されます。
- 複数の T2 (スレーブ側) へ同期する場合は、すべての T2 (スレーブ側) で手順 1、2 を行って ください。

同期元のT2(マスター側)をマスターモードに設定し、データを同期

- **1.** y = 1 y = 0 System \rightarrow T2 to T2 Sync backup... $e^{-y} = 0$
 - R1/P1/P2 チャンネルでキャプチャ中またはクリップをロード中の場合は、アンロードするか どうかを確認するメッセージが表示されます。OK をクリックすると、クリップがアンロード されます。
 - T2からT2への同期バックアップの設定ダイアログが表示されます。

2. Master mode を選択し、Slave configuration... をクリックする

T2 to T2 Sync backup X		
You can sync the data between the "Master T2" and the "Slave T2". However, all contents of the "Slave T2" will be erased and replaced the "Master T2" contents. 1) First put the "Slave T2" into "Slave mode". (You can have multiple Slave T2) 2) Next, put the "Master T2" into "Master Mode" and select the Slave T2(s) you want to synchronize to. 3) Select "Start Sync" from the Master T2.		
Operating mode		
O Not set		
Master mode Slave configuration Slave count : 1		
O Slave mode		
Progress		
00:00:00		
Start Sync Stop Close		

- 同期元のT2(マスター側)がマスターモードに設定されます。
- •「Slave count:」にスレーブモードに設定された T2 の台数が表示されます。

3. スレーブモードに設定した T2 の IP アドレスを設定する

Slave configuration	×
Settings of the target T2 IP address. You can do an automatic search for a Slave T2 by clicking on the "Auto Search" button.	
IP address	
K	>
Auto Search Add Delete Change	
Close	

- Auto Search...をクリックすると、ネットワーク上でスレーブモードに設定されたT2を検索 できます。検索結果ダイアログで IP アドレスを選択し、Add ALL をクリックします。
- 手動で設定する場合は、Add... をクリックして IP アドレスを入力します。

- 4. Close をクリックする
- **5.** T2 から T2 への同期バックアップの設定ダイアログで、**Start Sync** をクリック する

T2 to T2 Sync backup	~
You can sync the data between the "Master T2" and the "Slave T2". However, all contents of the "Slave T2" will be erased and replaced the "Master T2" contents. 1) First put the "Slave T2" into "Slave mode". (You can have multiple Slave T2) 2) Next, put the "Master T2" into "Master Mode" and select the Slave T2(s) you want to synchronize to. 3) Select "Start Sync" from the Master T2.	
Operating mode	
○ Not set	
Master mode Slave configuration Slave count : 1	
O Slave mode	
Progress	
00:00:00	
Close Close	

- 6. 確認メッセージが表示されるので、OK をクリックする
 - 同期が開始されます。上側のプログレスバーでファイルの転送状況、下側のプログレスバーで 全体の進捗状況を確認できます。
 - 途中で同期を中止する場合は、Stop をクリックします。スレーブモードに設定された T2 からでも停止できます。
- **POINT**: T2の電源が切れてしまった場合など、データの同期が強制的に停止された場合 は、クリップが次のようなサムネイルで表示される場合があります。このような クリップは使用できません。



POINT:途中で同期を中止し、再度同期を開始した場合は、すでに転送済みのファイルは スキップされます。

リモートモード中のローカル操作

リモートモード中(R1-Remote モード/ P1-Remote モード/ P2-Remote モード)でも、ローカルで T2 を操作できるように設定できます。

R1-Remote モード中のローカル操作

T2のローカル操作を許可している場合、R1-Remoteモード中にできる操作は次のとおりです。

- 録画、停止
- クリップ名、タグの入力
- プロパティの表示
- クリップのアンロード

R1-Remote モード中のローカル操作を許可するかどうかを設定する手順を説明します。

- **1.** Config. e c / y / z
- Enable local operations while being remote controlled. にチェック を入れ、OK をクリックする

Configuration	and the second	×
■- General Hardware Network-1 Network-2 Network-3 FTP	Select Timecode TC(LTC) SDI(VITC) Record Timecode	
	 O External O Internal - System time Internal - Specified start TC 00:00:00;00 	
Video Monitor & Remote ProcAmp	Record ancillary data O ON O OFF Remote Protocol(VTR Mode) : BVW	
■ 192 Video Monitor & Remote ProcAmp ■- Transfer Common	AMP Connection IP address 0.0.0.0 Channel vtr1	
- AVCHD AVI MXF XDCAM P2	Remote Protocol(Remote Mode) : BVW	
	OK Cancel Apply	

P1-Remote モード/ P2-Remote モード中のローカル操作

T2のローカル操作を許可している場合、P1-Remote モード/ P2-Remote モード中にできる操作は次のとおりです。

- スクラブバー操作
- 再生コントロール操作(最初のフレームに移動、巻き戻し、フレーム戻し、停止、再生、フレーム送り、早送り、最後のフレームに移動)
- In/Out 点へ移動、In/Out 点の設定、In/Out 点の削除、サブクリップの作成
- スクラブバーの表示スケールの切り替え
- オーディオレベル表示の切り替え
- サムネイルの作成(プレビュー画面での右クリック操作)
- クリップ/プレイリスト名、タグの入力
- In 点/ Out 点/デュレーションの数値入力、In 点/ Out 点/デュレーションの確定
- プレイリストのイベントリストの編集(追加、削除、並べ替え、コピー、ペースト、名前の変更)
- プロパティの表示
- クリップ/プレイリストのロード、アンロード
- 3D 同期モード、E to E モード、Loop モードの ON/OFF 切り替え
- フロントパネル下部の物理ボタンでの操作

P1-Remote モード/ P2-Remote モード中のローカル操作を許可するかどうかを設定する手順を説明します。

- **1.** Config. をクリックし、「P1」 ツリーまたは 「P2」 ツリーの Monitor & Remote をクリックする
- Enable local operations while being remote controlled. にチェック を入れ、OK をクリックする



その他の追加・変更機能

録画中のファイルを自動的にエクスポート

R1 チャンネルで録画中のファイルを、指定した場所へ自動的にエクスポートできます。

- 1. Config. をクリックし、「R1」 ツリーの Capture をクリックする
- 2. Automatically export a clip being recorded. にチェックを入れる



3. Browse... をクリックし、エクスポート先を指定して OK をクリックする

時差送出可能な素材を P1/P2 チャンネルに自動的にロード

R1 チャンネルで録画中の素材が時差送出可能になった時点で、P1 チャンネルまたは P2 チャンネルに自動的にロードするように設定できます。

1. Config. をクリックし、「P1」ツリーまたは「P2」 ツリーの Video をクリックする

2. Automatically mount a clip being recorded on the player, when it's ready for playback. にチェックを入れる

Configuration		×
■ General — Hardware — Network-1 — Network-2 — Network-3 — FTP	Format : DVI option : Output capability	1920x1080 59.94; ▼ None ▼
Miscellaneous R1 Input Settings Traccode & Remote Capture P1 Video Monitor & Remote ProcAmp	Aspect : Component type : Pedestal :	16:9 YPbPr IRE
■ P2 Video Monitor & Remote ProcAmp ■ Transfer Common Common	Still image : Aspect Ratio Conversion : Auto play mode :	Field Bars Auto Play
AVCHU AVT MXF XDCAM P2 GF Playlist	Automatically mount a clip be playback.	eing recorded on the player, when it's ready for K1, actomatically modificient the playing of the player.
Default		OK Cancel Apply

- **POINT**: P1/P2 チャンネルにロードした素材を自動的に送出する場合は、「Auto play mode:」の **Auto Play** にもチェックを入れておきます。
- 3. OK をクリックする
 - ↑ 注 意:次のような場合、本機能は動作しません。
 - 指定したチャンネルがロックされているとき、または 3D 同期モードが ON になっているとき
 - 指定したチャンネルが Fill/Key 出力モードのとき
 - 指定したチャンネルがリモートモードのとき(リモートモード中のローカル操作を有効に 設定している場合を除く)
 - もう一方のチャンネルに 1Out 制限のクリップがロードされているとき

R1 で作成したサブクリップをプレイリストに自動的に追加

R1 チャンネルで作成したサブクリップを、P1 チャンネルまたは P2 チャンネルにロードされ たプレイリストに自動的に追加するように設定できます。

1. Config. をクリックし、「P1」ツリーまたは「P2」 ツリーの Video をクリックする
2. When a subclip is created in R1, automatically mount it in the playlist of the player. にチェックを入れる

Configuration		×
General Hardware - Network-1 - Network-2 - Network-3 - FTP	Format : DVI option : Output capability SDI YPbPr Composite	1920x1080 59.94i • None • DVI-D RGB
	Aspect : Component type : Pedestal :	16:9 YPbPr O IRE
Video Monitor & Remote ProcAmp ■- Transfer Common	Still image : Aspect Ratio Conversion : Auto play mode :	Field Bars Auto Play
- AVCHD AVI MXF XDCAM P2 GF Playlist	When a subclip is created in R	ng recorded on the player, when it's ready for 1, automatically mount it in the playlist of the player.
Default		OK Cancel Apply

- **3.** OK をクリックする
 - ▲ 注 意:次のような場合、本機能は動作しません。
 - 指定したチャンネルがロックされているとき、または 3D 同期モードが ON になっているとき
 - 指定したチャンネルが Fill/Key 出力モードのとき
 - 指定したチャンネルがリモートモードのとき(リモートモード中のローカル操作を有効に 設定している場合を除く)
 - もう一方のチャンネルに 1Out 制限のクリップがロードされているとき

プレビュー更新間隔の設定について

R1/P1/P2チャンネルのプレビュー更新間隔を設定する操作が変更になりました。

また、R1 チャンネルのプレビュー更新を行わない設定にした場合、Grass Valley HQ Codec での内部のデコード処理を停止する仕様に変更されました。

ここでは、プレビュー更新間隔を設定する手順を説明します。

※フロントパネルモードでは設定できません。

1. Config. をクリックし、「General」 ツリーの Miscellaneous をクリックする

2. 「Preview update interval:」の Settings... をクリックする



- プレビュー更新間隔の設定ダイアログが表示されます。
- 3. プレビュー更新間隔を設定し、OK をクリックする



- プレビュー更新間隔を自動で設定する場合は、「Update mode:」のリストから Auto を選択します。
- プレビュー更新間隔を手動で設定する場合は、「Update mode:」のリストから Manual を選択 します。「R1:」または「P1, P2: Update every」の「frames」にフレーム数を入力します。フ レーム数が大きくなるほど、プレビュー更新間隔が長くなります。(初期設定では、2フレーム ごとにプレビューが更新されます。)プレビューの更新を行わない場合は、Update preview のチェックを外します。

POINT:R1/P1/P2 チャンネルのプレビュー更新を行わない設定にすることで、 Windows のリモートデスクトップ機能で T2 をリモート制御できます。リ モート制御する PC から C:\Eiger\Eiger.exe.forRemoteDesktop.bat をダブ ルクリックしてください。(T2 がメンテナンスモード時のみ有効です。)

1 倍速以外で再生時のアンシラリデータの出力

1倍速以外で再生したときも、アンシラリデータが出力される仕様に変更されました。

キーボードショートカットについて

クリップを P1/P2 チャンネルにロードする際、ビンタブから P1/P2 チャンネルにフォーカス を移動できるキーボードショートカットが追加されました。

追加されたキーボードショートカットは次のとおりです。

- Mount the selected item on the selected channel (with shifting the focus)
- Mount the selected item on the selected channel and pause (with shifting the focus)
- Mount the selected item on the selected channel and play (with shifting the focus)
- Mount the selected item on P1 (with shifting the focus)
- Mount and pause the selected item on P1 (with shifting the focus)
- Mount and play the selected item on P1 (with shifting the focus)
- Mount the selected item on P2 (with shifting the focus)
- Mount and pause the selected item on P2 (with shifting the focus)
- Mount and play the selected item on P2 (with shifting the focus)

Wake On LAN 機能で T2 を起動

Wake On LAN 機能を使用して、ネットワークで接続された PC から T2 の電源を入れることができます。

Wake On LAN 機能を有効にする設定を行い、NIC の MAC アドレス/ IP アドレスを確認した後、PC から T2 にパケットを送出して電源を入れます。

ステップ1 Wake On LAN 機能を有効にする

- 1. T2の電源スイッチを入れる
- **2.** キーボードの [F2] キーを押す
 - 設定画面が表示されます。
- 3. Advanced タブで「>Advanced Chipset Control」を選択し、キーボードの[Enter] キーを押す
- **4.** 「>Integrated Device Control Sub-Menu」を選択し、キーボードの [Enter] キーを 押す

- 5. 「Intel LAN:」または「RealTek LAN:」の「Wake On LAN:」の設定値を[Enabled] に変更する
 - LAN1 端子を使用する場合は、「Intel LAN:」、LAN2 端子を使用する場合は、「RealTek LAN:」の設定値を変更します。
- 6. キーボードの [Esc] キーを数回押して、Exit タブに移動する
- 7. 「Exit Saving Changes」を選択し、キーボードの [Enter] キーを押す
- 8. 確認ダイアログで [Yes] を選択し、キーボードの [Enter] キーを押す
- 9. メンテナンスモードで T2 を再起動する
 - LAN2 端子を使用する場合は、これで Wake On LAN 機能が有効になります。続いて、「ステップ2 NIC の MAC アドレス/ IP アドレスを確認する」 (\rightarrow P.112) の手順に進んでください。
- 10. StartメニューでMy Computerを右クリックし、Propertiesをクリックする
- 11. Hardware タブをクリックし、Device Manager をクリックする
- **12.** [Network adaptors] ツリーをクリックする
- **13. Intel(R) 82567LM-3 Gigabit Network Connection** を右クリックし、 **Properties** をクリックする
 - LAN1 端子のネットワークアダプタは、Intel(R) 82567LM-3 Gigabit Network Connection、 LAN2 端子のネットワークアダプタは、Realtec RTL 8168C(P)8111(P) PCI-E Gigabit Ethernet NIC です。
- **14. Advanced** タブをクリックし、下記の設定に変更する
 - (1)「Property:」で「Wake on Settings」をクリックし、「Value:」のリストから Wake on Magic Packet を選択します。
 - (2)「Property:」で「Enable PME」をクリックし、「Value:」のリストから Enabled を選択します。
- **15. Power Management** タブをクリックし、Allow this device to bring the computer out of standby のチェックを入れる

ステップ2 NIC の MAC アドレス / IP アドレスを確認する

- 1. メンテナンスモードで T2 を再起動する
- 2. コマンドプロンプトで ipconfig /all を実行する
- 3. MAC アドレス、IP アドレス、サブネットマスクを確認する

ステップ3 PC から T2 にパケットを送出して電源を入れる

ステップ 2 で確認しておいた MAC アドレスや IP アドレス、サブネットマスクを使用して、 PC から T2 にパケットを送出します。

あらかじめ、T2の電源を切り、LAN1 端子またはLAN2 端子にネットワークケーブルが接続 されていることを確認しておいてください。

1. PC から下記のツールなどを使用して、ネットワーク経由で Magic Packet を送出する

- MagicSend http://www.ex-group.jp/newpage/software00.html
- Wake up On Lan Tool http://www.vector.co.jp/soft/win95/util/se241927.html

GPI からのタリー出力

T2で再生中または録画中に、GPIからタリー信号を出力して、外部モニターのタリーランプを常時点灯させることができます。

GPI Output の各ピン(1~6ピン)に、タリー出力を設定する手順を説明します。

1. Config. をクリックする



2. [GPI] ツリーの **Output** をクリックする

3. Previous または Next をクリックし、設定対象のピン $(1 \sim 6 \, e^{-1})$ を選択する



• GPI Output のピン配列については、「GPI 入出力ピン」(→ P.114)を参照してください。

4. 「Settings:」でタリー出力の設定をする

- •「Name:」に、GPI Output のピンの名前が入力されています。
- •「Active:」で、アクティブにする GPI 信号(**High** または **Low**)を選択します。
- 「Mode:」で、Tally R1 を選択すると、R1 チャンネルで録画中に、タリー信号を出力します。
 Tally P1 または Tally P2 を選択すると、P1 チャンネルまたは P2 チャンネルで再生中に、タリー信号を出力します。

GPI 入出	カピン	
9 	15 	
\bigcirc		
	8	
Pin	Signal	
1	Output 1	
2	Output 2	
3	Output 3	
4	Output 4	
5	Output 5	

Output 6

共通 Ground

NC

6

7

8

_	Pin	Signal
-	9	Input 1
_	10	Input 2
	11	Input 3
_	12	Input 4
-	13	Input 5
_	14	Input 6
-	15	NC
-	SHELL	共通 Ground

Chapter **7**

APPENDIX

この章は次のように構成されています。

- 「T2 エクスポートに関する注意事項」(→ P.116)
- 「フロントパネルモードでの操作」(→ P.117)
 - •「メディア内の素材の再生」(→ P.117)
 - $\lceil \checkmark \lor \And \neg \urcorner \land \lor \land \land \lor \urcorner$
 - •「メディアの取り出し」 (→ P.120)
 - 「ビンに登録したクリップを別のフォーマットに変換」(→ P.121)
 - 「FTP の設定」 (→ P.121)
 - •「プレイリストを1つのクリップに変換」(→ P.123)

 - 「そのままのフォーマットでファイル出力」 (→ P.127)
 - 「Grass Valley HQ AVI を MXF (XDCAM 形式) に変換してファイル出力」 (→ P.127)
 - 「他の T2 へ全データをバックアップ(フルバックアップ同期)」(→ P.129)

T2 エクスポートに関する注意事項

入出力	メディア	アルファ	アの有無	la/Qut 占指字	正主	得画中ファイルの
クリップの メディアタイプ	出力する メディア	なし	あり	サブクリップ	「時度」 エクスポート	違っかけエクスポート
AVI	AVI	0	0	0	0	○*6
	MXF	0	\triangle^{*1}	0	×	○*6
	TWF(T2形式)	0	0	0	×	×
MXF	MXF	0	0	△*3	×	
	TWF	0	0	0	×	
XDCAM	XDCAM	0	0	△*3	×	
	TWF(T2形式)	0	0	0	×	
XDCAM EX	XDCAM EX	0	0	△*3	×	
	TWF(T2形式)	0	0	0	×	
P2	P2	0	0	△*3	×	
	TWF(T2形式)	0	0	0	×	
GF	GF	0	0	△*3	×	
	TWF(T2形式)	0	0	0	×	
AVCHD	AVCHD	0	0	△*3	×	
	TWF(T2形式)	0	0	0	×	
静止画	静止画	$\bigcirc^{\& 2}$	$\bigcirc^{\& 2}$		×	
	TWF(T2形式)	0	0		×	
プレイリスト	AVI	0	0	\triangle^{*4}	$\triangle^{\$5}$	_
	MXF	0	\triangle^{*1}	$\triangle^{st 4}$	×	—
	TWF(T2形式)	0	0	\triangle^{*4}	×	

※1 アルファ無しの状態に変換。

※2オリジナルの静止画ファイルを出力。

※3 In/Out 点間の切り出し出力は非対応。(もとのメディアファイル全体を出力)

※4 プレイリスト内のイベントの In/Out 点設定は保持する。サブクリップの概念はない。

※5 最終的に AVI ファイルを作成する段階ではインデックスファイルが出力される。

※6 Config. をクリックし、「Transfer」ツリーの Common をクリックして表示される画面で、Pause file transfers while recording or playing out. のチェックを外したときのみ有効。

フロントパネルモードでの操作

ここでは、フロントパネルモードでの手順を記載しています。制限事項などの詳細について は、各章を参照してください。

メディア内の素材の再生

ここでは、XDCAM を例に説明していますが、特に記載がないかぎり、他のフォーマットの 場合でも手順は同じです。

- 1. デバイスを T2 に接続し、メディアを挿入する
- 2. Import をタップする



3. 新しい接続をタップし、メディアを選択する



Chapter 7 APPENDIX

- ドライブを選択し、OK をタップする
 クリップが一覧で表示されます。
- 5. クリップを選択し、>P1 または >P2 をタップする
- 6. 再生ボタンを押す

インポート

ここでは、XDCAM を例に説明していますが、特に記載がないかぎり、他のフォーマットの 場合でも手順は同じです。

- インポートするクリップを選択して Import をタップし、Import... を選択する
 クリップは複数選択できます。
- **2.** Config. *を*タップする



 リストの「Format」に、インポートするファイルのフォーマットが表示されます。変更の必要 がない場合は、Config.で設定を変更する必要はありません。手順5に進んでください。

	Commor AVCHD AVI MXF XDCAM P2 GF Playlist
General	XDCAM Import Settings
R1	File format after import:
P1	XDCAM EX Import Settings
P2	File format after import:
Transfer	
GPI	
Miscellaneous	Default OK Cancel Apply

3. インポートするクリップのフォーマットのタブをタップする

- 例えば、インポートするクリップが XDCAM フォーマットなら XDCAM タブ、MXF 単体ファイルなら MXF タブをタップします。
- 4. 「File format after import:」のリストからインポート後のフォーマットを選択し、 OK をタップする
- 5. 取り込み先のビンを選択し、Start をタップする

	\mathbb{N}		Config.
Name	Format		
C0001	xml (MXF MPEG2	Video Elementary Strea	m) 🔺
C0002	xml (MXF MPEG2	Video Elementary Strea	m)
C0003	xml(MXF MPEG2	Video Elementary Strea	m)
Bin:	Default	Start] Cancel

• インポートが開始されます。転送画面で進捗を確認できます。

メディアの取り出し

ここでは、XDCAM を例に説明していますが、特に記載がないかぎり、他のフォーマットの 場合でも手順は同じです。

1. Menu をタップし、Disconnect を選択する



- 2. Yes をタップする
- 3. メディアをドライブから取り出す
- POINT:デバイスの取り外しをタップし、接続を切断することでもメディアを取り出すことができます。



ビンに登録したクリップを別のフォーマットに変換

ここでは、XDCAM を例に説明していますが、特に記載がないかぎり、他のフォーマットの場合でも手順は同じです。

- 1. 変換するクリップを選択して Menu をタップし、Convert→Convert to (変 換後のフォーマット)を選択する
 - Empty Recycle Bin >P1 >P2 Preview Export Bin(1) (1/10) View 1ch View Browse Recycle Bin Thumbnail Name Rename Folder 🛅 Bin 3ch View H Delete Folder 🛅 Bin(1) Properties -🛅 Bin(2) Config. 🛅 Bin(3) Move Clip_10 🛅 Bin(4) Transfer 🛅 Default Convert to AVI (Grass Valley HQ) Convert 🛅 test Tools Convert to MXF(XDCAM) Remaining: 09:19 1920x1080 59.94i Clip_11(1) 11 11:37 AM
 - クリップは複数選択できます。

- 2. Yes をタップする
 - 変換が開始されます。転送画面で進捗を確認できます。
 - •変換されたクリップは、もとのクリップと同じビンへ新たに保存されます。

FTP の設定

1. Config. をタップする



2. General をタップする

Reference : P1 : P2 :	Internal	J	
P1: P2:			
P2 :			
Tri-Level HD H-shift : BB HD H-shift :			
BB SD H-shift :			
Audio reference level :	-20	J dB	
Audio Input/Output level	+4	🗸 dBu	
Default	ок	Cancel	Apply
	Tri-Level HD H-shift : BB HD H-shift : BB SD H-shift : Audio reference level : Audio Input/Output level	Tri-Level HD H-shift : 0 BB HD H-shift : 0 BB SD H-shift : 0 Audio reference level : -20 Audio Input/Output level : +4 Default OK	Tri-Level HD H-shift : 0 BB HD H-shift : 0 BB SD H-shift : 0 Audio reference level : -20 dB Audio Input/Output level : +4 dBu Default OK Cancel

- 3. Network-1 タブをタップし、IP アドレス、DNS サーバーを設定する
- 4. FTP タブをタップする
- 5. Settings... をタップする

	Hardware Network-1 Network-2 Network-3 FTP Miscellaneous	
General	FTP Server	
R1	User Name : ftpuser Settings	
P1	Max Clients : 5	
P2	Bin(root directory) : Default	
Transfer	Start Stop	
GPI	FTP Export List	2
iscellaneous	Default OK Cancel Apply	

6. FTP サーバーを設定し、OK をタップする

7. Start をタップする

	Hardware Network-1 Network-2 Network-3 FTP Miscellaneous	
General	FTP Server	
R1	User Name : ftpuser Settings	
	Password : ftppassword	≣
P1	Max Clients : 5	
P2 Transfer	Start Stop	
	$\ensuremath{\overline{\mathbb{G}}}$ Limit the FTP transfer rate while recording or playing.	
GPI	FTP Export List	
Miscellaneous	Default OK Cancel Apply	

8. OK をタップする

プレイリストを1つのクリップに変換

POINT: MXF (XDCAM 形式) のクリップに変換する場合は、Config. をタップし、 Transfer→AVI タブをタップして表示される設定画面内で、フォーマットの詳 細を設定しておいてください。

	Common	AVCHD	AVI	MXF	XDCAM	P2	GF	Playlist
General	AVI Ex	«port Setti	ngs					
R1	-Advan	ced AVI tr	ding when anscodin	i exporting g setting	avinie. s			
P1	Advano	ed settings	for AVI fi	e transcoo	les.			
	File	type : mat :		MX	F(XDCAM II	MX)		
P2	Bitra	ate :		50	12480 59.94	Mbps		
Transfer	Scal	ing :		Bar	s	_	-	
GPI	Aud	io format :		161	it8ch		-	
Miscellaneous		Defa	ult		ОК		ancel	Apply

ビンに登録したプレイリストを1つのクリップに変換

- 1. 変換するプレイリストを選択して Menu をタップし、Convert→Convert to (変換後のフォーマット)を選択する
 - プレイリストは複数選択できます。



2. Yes をタップする

- 変換が開始されます。転送画面で進捗を確認できます。
- •変換後のクリップは、もとのプレイリストと同じビンへ新たに保存されます。

プレイリストを1つのメディアファイルに変換して出力

- 出力するプレイリストを選択して Export をタップし、Export Media Files... を選 択する
 - プレイリストは複数選択できます。
 - エクスポートの補足事項についてのメッセージが表示されます。内容を確認し、**OK** をタップします。

2. Config. をタップする



3. Transfer をタップし、Playlist タブをタップする

	Common	AVCHD	AVI	MXF	XDCAM	P2	GF	Playlist	
General	Playli	st Export S	Settings –						
R1	File for HQ	mat after e:	xport :						
P1									
P2									
Transfer									
GPI									
Miscellaneous		Defa	ult		ОК	Ca	ancel		pply

4. 「File format after export:」のリストから変換後のフォーマット を選択し、**OK** を タップする

5. 出力先を設定し、Start をタップする

X	\mathbb{N}	Config.
Name	Format	
Playlist	Playlist -> AVI(Grass Valley H	Q) 🔺
1		
Export path:	F:\	
		Start Cancel

• 変換とエクスポートが開始されます。転送画面で進捗を確認できます。

T2 フォーマットでエクスポート

- 出力するクリップを選択して Export をタップし、Export in T2 Format (TWF Files)... を選択する
 - クリップは複数選択できます。
 - 他のT2へのエクスポートについてのメッセージが表示されます。内容を確認し、OK をタップします。
 - エクスポートダイアログが表示されます。

2. 出力先を設定し、Start をタップする

X	\mathbb{N}	Config.
Name	Format	
clip01	twf(T2 Wrapped Format)
4		
Export path:		
		Start Cancel

•エクスポートが開始されます。転送画面で進捗を確認できます。

そのままのフォーマットでファイル出力

ここでは、XDCAM を例に説明していますが、特に記載がないかぎり、他のフォーマットの 場合でも手順は同じです。

- 出力するクリップを選択して Export をタップし、Export Media Files... を選 択する
 - クリップは複数選択できます。
 - エクスポートの補足事項についてのメッセージが表示されます。内容を確認し、OK をタップします。
 - エクスポートダイアログが表示されます。
- 2. 出力先を設定し、Start をタップする

\mathbf{X}	\bigcirc		Config.
Name	Format		
C0002	xml (MXF MPEG2)	video Elementary Str	eam) 🔺
			_
Export path:			
		Start	Cancel

• エクスポートが開始されます。転送画面で進捗を確認できます。

Grass Valley HQ AVI を MXF(XDCAM 形式)に変換してファイル 出力

- 出力するクリップを選択して Export をタップし、Export Media Files... を選択 する
 - クリップは複数選択できます。
 - エクスポートの補足事項についてのメッセージが表示されます。内容を確認し、OK をタップします。

Chapter 7 APPENDIX

2. Config. をタップする



- リストの「Format」に、エクスポートするファイルのフォーマットが表示されます。変更の必要がない場合は、Config.で設定を変更する必要はありません。手順6に進んでください。
- 3. Transfer をタップし、AVI タブをタップする

	Common	AVCHD	AVI	MXF	XDCAM	P2	GF	Playlist	
General	AVIE	kport Setti	ngs						
R1	∪ Exec -Advan	ced AVI tr	iding wher anscodin	i exporting g setting	AVI tile. s				
P1	Advano File	ced settings type :	for AVI fi	le transcoc MX	les. F(XDCAM II	MX)	•		
P2	For	mat :		720)×486 59.94	i	•		
Transfer	Bitra Scal Aud	ate : ling : lio format :		50 Bar 16b	s vit8ch	Mbps	•		
GPI									
Miscellaneous		Defa	ult		ОК	C	ancel	A	oply

- **4. Execute transcoding when exporting AVI file.** にチェックを入れ、OK をタップする
 - チェックを外すと、フォーマットを変換せずに出力します。
- 5. AVI トランスコード詳細設定を行い、OK をタップする

6. 出力先を設定し、Start をタップする



•変換とエクスポートが開始されます。転送画面で進捗を確認できます。

他の T2 へ全データをバックアップ(フルバックアップ同期)

同期先のT2(スレーブ側)をスレーブモードに設定

1. Menu をタップし、Tools→T2 to T2 Sync backup... を選択する



- R1/P1/P2 チャンネルでキャプチャ中またはクリップをロード中の場合は、アンロードするかどうかを確認するメッセージが表示されます。OK をタップすると、クリップがアンロードされます。
- T2 から T2 への同期バックアップの設定ダイアログが表示されます。

2. Slave mode を選択し、Close をタップする

T2 to T2 Sync backup					
You can sync the data between the "Master T2" and the "Slave T2". However, all contents of the "Slave T2" will be erased and replaced the "Master T2" contents. 1) First put the "Slave T2" into "Slave mode". (You can have multiple Slave T2) 2) Next, put the "Master T2" into "Master Mode" and select the Slave T2(s) you want to synchronize to. 3) Select "Start Sync" from the Master T2.					
Operating mode					
O Not set					
O Master mode	Slave configuration				
Slave mode					
Progress					
		00:00:00			
Start Sync	Stop	Close			

- 同期先の T2 (スレーブ側) がスレーブモードに設定されます。
- 複数の T2 (スレーブ側) へ同期する場合は、すべての T2 (スレーブ側) で手順 1、2 を行って ください。

同期元のT2(マスター側)をマスターモードに設定し、データを同期

1. Menu をタップし、Tools→T2 to T2 Sync backup... を選択する

- R1/P1/P2 チャンネルでキャプチャ中またはクリップをロード中の場合は、アンロードするかどうかを確認するメッセージが表示されます。OK をタップすると、クリップがアンロードされます。
- T2からT2への同期バックアップの設定ダイアログが表示されます。

2. Master mode を選択し、Slave configuration... をタップする

T2 to T2 Sync backup		×		
You can sync the data between the "Master T2" and the "Slave T2". However, all contents of the "Slave T2" will be erased and replaced the "Master T2" contents. 1) First put the "Slave T2" into "Slave mode". (You can have multiple Slave T2) 2) Next, put the "Master T2" into "Master Mode" and select the Slave T2(s) you want to synchronize to. 3) Select "Start Sync" from the Master T2.				
Operating mode				
Master mode	Slave configuration	Slave count : 1		
O Slave mode				
Progress				
		00:00:00		
Start Sync	Stop	Close		

- 同期元のT2(マスター側)がマスターモードに設定されます。
- •「Slave count:」にスレーブモードに設定された T2 の台数が表示されます。

3. スレーブモードに設定した T2 の IP アドレスを設定する



- Auto Search...をタップすると、ネットワーク上でスレーブモードに設定されたT2を検索できます。検索結果ダイアログで IP アドレスを選択し、Add ALL をタップします。
- 手動で設定する場合は、Add... をタップします。「IP Address:」の入力欄をタップして IP アドレスを設定します。
- 4. Close e^{y}
- 5. T2からT2への同期バックアップの設定ダイアログで、Start Syncをタップする
- 6. 確認メッセージが表示されるので、OK をタップする
 - 同期が開始されます。上側のプログレスバーでファイルの転送状況、下側のプログレスバーで 全体の進捗状況を確認できます。
 - 途中で同期を中止する場合は、Stop をタップします。スレーブモードに設定された T2 からで も停止できます。